

平成 21 年度
盛岡市玉山区の生活交通の実態把握と
あり方検討に関する市民調査



平成 22 年 3 月

盛 岡 市

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

目 次

1.	調査の目的と方法	1
1-1	背景と目的	1
1-2	調査フロー	2
2.	地域概況	3
2-1	人口・世帯特性	3
2-2	施設の分布	6
3.	交通概況	8
3-1	鉄道と路線バス	8
3-2	スクールバス	10
3-3	患者輸送バス（盛岡市玉山区運営）	12
4.	公共交通を取り巻く環境	14
5.	利用実態調査	15
5-1	路線バス	15
5-2	患者輸送バス	26
6.	生活交通調査	30
6-1	調査概要	30
6-2	調査結果概要（詳細については、巻末資料1を参照）	31
7.	玉山区の住民との意見交換	33
7-1	開催概要	33
7-2	意見交換	33
8.	まとめ ～現状の課題認識と改善の方向性の提案～	35
	巻末資料1 住民アンケート調査結果（詳細）	36
	巻末資料2 住民アンケート調査票	56

1. 調査の目的と方法

1-1 背景と目的

生活交通を取り巻く状況

玉山区などの地方部では、マイカーの普及と少子化を背景として路線バスなどの公共交通利用者は減少を続けており、民間事業者の経営の健全性が悪化していると共に、市町村の財政負担は増え続けている。その中で、バスは便数が減り、今後も廃止の危機にさらされている路線も少なくない。一方で、地方部では小中学校や医療機関などは統廃合などによって、集落からは遠隔化している。そのような状況の中で、スクールバスや患者輸送バスなどが運行され、市民の生活交通は路線バスだけではなく多様化している。

路線バスなどの公共交通を取り巻く状況

公共交通の維持などのあり方検討に関しては、近年、国の制度改革もあり、事業者間の調整やスクールバスや患者輸送バスの運行計画の策定やそれらの体系化など市町村が果たすべき役割が拡大している。しかし、盛岡市のように市町村合併によって、市域が広がってくると公共交通サービスを一律で市が考え、取り組んでいくことは困難になっている。また、マイカーへの依存度の違いやライフステージ毎のニーズなど、市民の公共交通に対する意向も多様化をしている。

公共交通の検討に当たっての方向性

そのような状況において、今後、市民の生活を支える公共交通のあり方については、市だけでなく地域住民がそれぞれ考え、また参加していくことを基本とした役割分担と協働化を進めていくことが必要となっていると考える。

実際に、他市町村においては地域住民が公共交通のあり方を検討し、地域住民組織がバスやタクシー事業者を選定、契約する制度を導入している地域も出てきている（宮城県石巻市、三重県松坂市、山形県山形市他）。

しかし、公共交通づくりに市と事業者との役割を明確にしつつ、地域住民が参画していく体制をつくることは、公共交通に関する分野においては市としては新たな試みであり、どのように進めていくかについては、地域の状況も踏まえた上で、十分に検討する必要がある。

本調査事業のねらい

以上のような状況から、本調査事業としては、地域住民が自ら自分たちの地域の生活交通のあり方について考え、市や事業者、その他病院等の関係機関と役割分担をしながらよりよい地域の公共交通を実現していく協働体制と進め方を検討するための基礎資料づくりと、今後の方向性を明らかにすることを目的として、市と協働で以下の事業に取り組む。

- ①公共交通機関の利用実態調査 …乗降調査
- ②玉山区の生活交通の実態把握 …住民アンケート調査
- ③玉山区の公共交通のあり方検討 …住民との意見交換

1-2 調査フロー

第1に基礎資料の収集整理および公共交通の乗降調査を行い、検討の基礎となる現状データの収集および図面等による分かりやすい資料づくりを行う。

第2に、住民アンケート調査を実施し、玉山区の公共交通に対するニーズを広く把握する。公共交通を特に必要とするのは高齢者であることから、必要に応じて通院者へのヒアリング調査なども実施する。調査および分析においては、市職員と共に行っていく。

第3に、住民の代表を交え意見交換を行い、調査結果や公共交通の問題について情報を共有する。最後に、調査検討結果をとりまとめ、報告書の作成を行う。

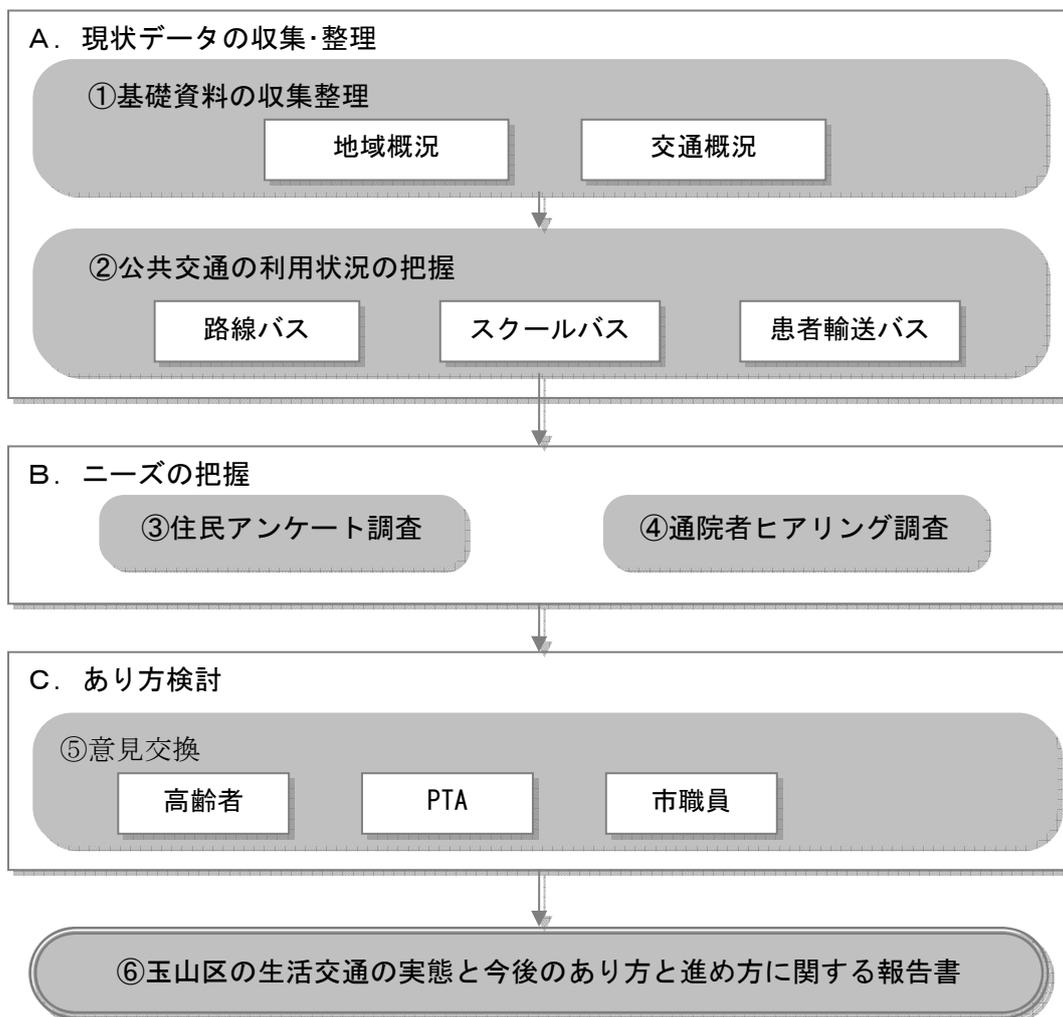


図 1-1 調査フロー

2. 地域概況

2-1 人口・世帯特性

- ・ 集落は区内の西部に固まっている。中央に岩洞湖が広がり、生活圏は東西で分断されている。（東部の集落（外山、藪川）から玉山方面への道路や移動手段はない）
- ・ 人口は微減。好摩駅周辺や盛岡に近い上田では増加している。
- ・ 高齢化率（65歳以上人口率）は26.7%と、岩手県の平均（25.8%）と比べるとやや高い。駅から遠い集落ほど高齢化が進行している。

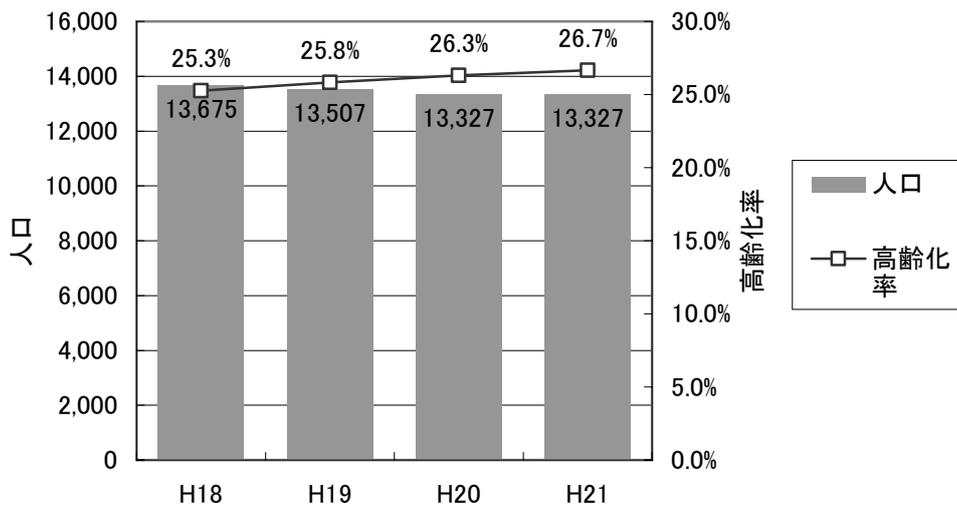


図 2-1 人口と高齢化率の推移

資料：住民基本台帳（各年3月末現在）

表 2-1 人口と高齢化率の推移（大字別）

区分	人口					高齢化率				
	H18	H19	H20	H21	増減率 (H21/H18)	H18	H19	H20	H21	増減率 (H21/H18)
松内字	309	293	295	295	0.95	27.2%	27.6%	28.5%	27.9%	1.03
好摩字	3,825	3,788	3741	3741	0.98	22.2%	22.9%	23.5%	24.0%	1.08
永井字	337	335	324	324	0.96	33.2%	34.0%	34.6%	35.6%	1.07
寺林字	291	295	273	273	0.94	28.9%	28.1%	29.7%	29.8%	1.03
巻堀字	282	279	277	277	0.98	29.8%	32.6%	32.1%	32.7%	1.10
馬場字	513	506	487	487	0.95	33.1%	33.6%	35.5%	36.5%	1.10
芋田字	455	455	446	446	0.98	27.5%	28.6%	27.6%	26.9%	0.98
渋民字	1,611	1,626	1638	1638	1.02	20.8%	20.6%	20.9%	21.5%	1.03
門前寺字	239	238	234	234	0.98	25.5%	26.5%	27.8%	27.7%	1.09
下田字	3,567	3,499	3460	3460	0.97	24.8%	25.8%	26.6%	27.1%	1.09
川崎字	189	188	186	186	0.98	17.5%	17.0%	16.7%	16.9%	0.97
玉山字	679	661	647	647	0.95	30.3%	30.6%	30.4%	29.2%	0.96
日戸字	489	478	462	462	0.94	26.0%	27.2%	27.7%	27.0%	1.04
川又字	512	503	504	504	0.98	26.6%	27.0%	26.8%	27.0%	1.02
上田字	39	38	42	42	1.08	30.8%	31.6%	28.6%	29.5%	0.96
藪川字	338	325	311	311	0.92	45.0%	43.4%	43.7%	44.3%	0.99
計	13,675	13,507	13,327	13,327	0.97	25.3%	25.8%	26.3%	26.7%	1.06

注：「高齢化率」とは、65歳以上の人口割合を指す。

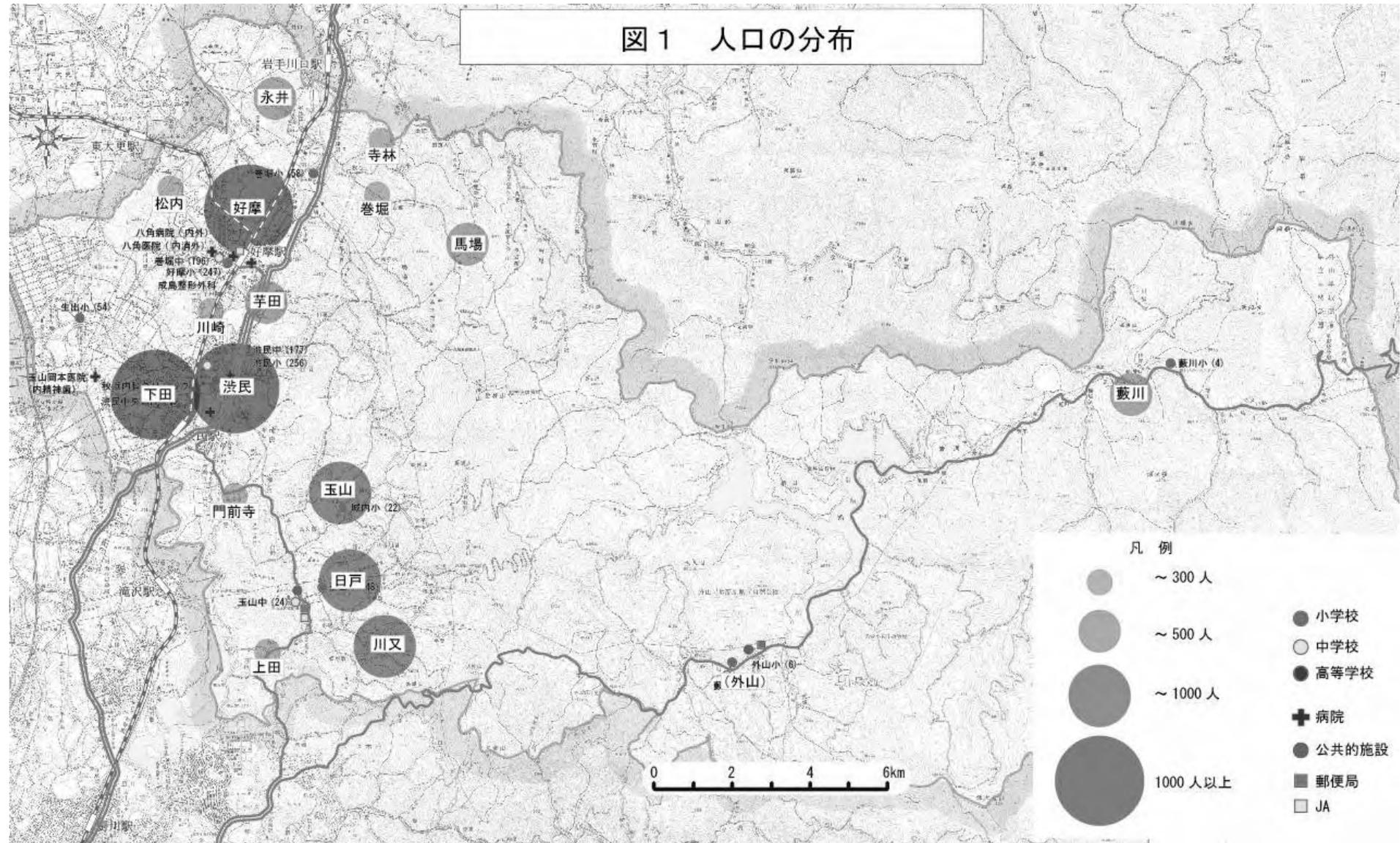


図 2-2 人口の分布図

図2 高齢化率

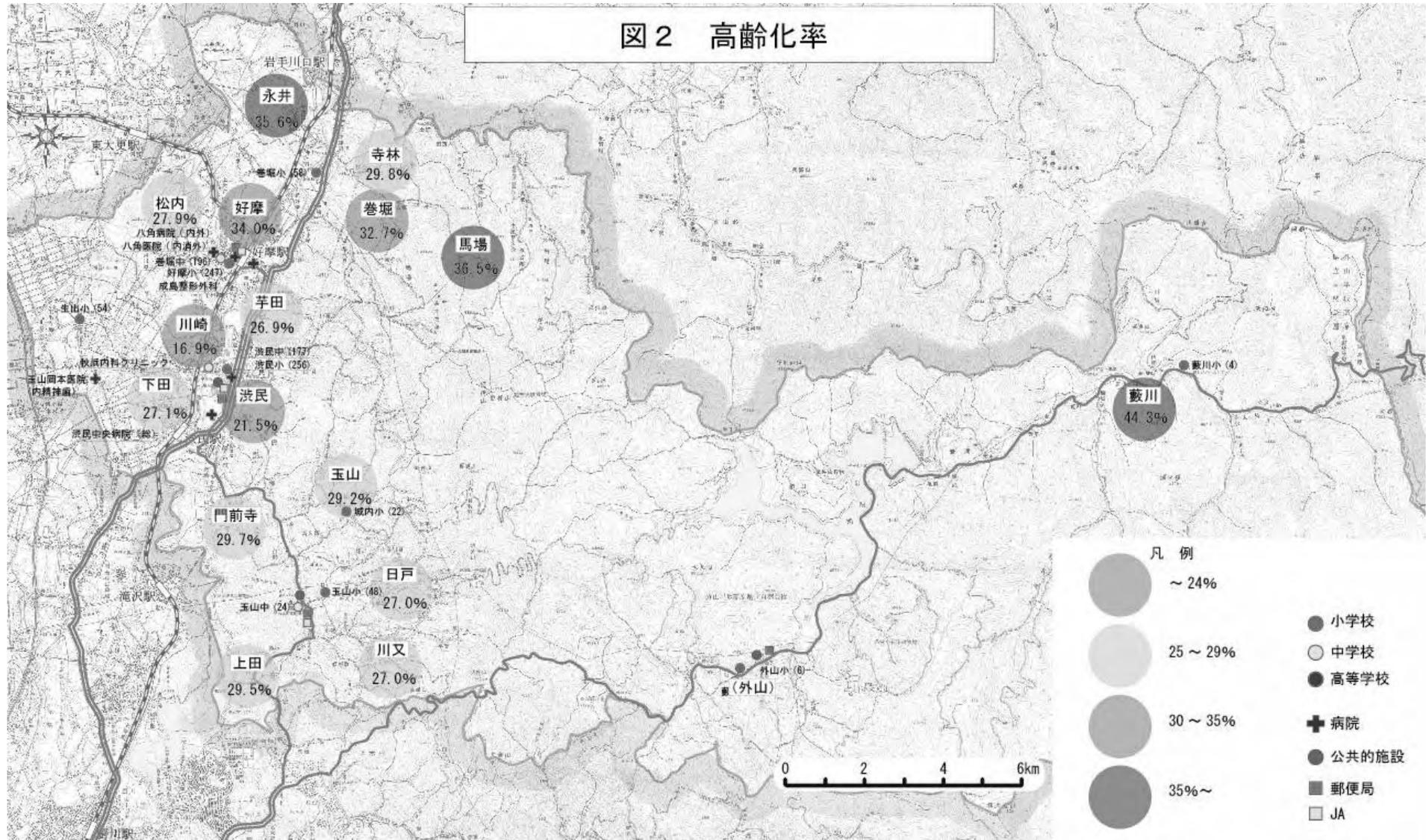


図 2-3 高齢化率

2-2 施設の分布

好摩駅と渋民駅周辺に病院等施設が集中して立地している。

表 2-2 路線バスの運行概要

種類	名称	住所	児童数		
教育	保育	好摩保育所	好摩字野中69-112		
		渋民保育所	渋民字渋民1-1		
		下田保育園	下田字生出袋80-1		
		玉山保育園	日戸字市の坪59		
		柳青保育園	下田字陣場42-63		
	幼稚園	好摩幼稚園	好摩字上山13-1		
	小学校	玉山小学校	日戸字市の坪53	48	
		城内小学校	玉山字田畑19-1	22	
		外山小学校	藪川字外山27-7	6	
		藪川小学校	藪川字町村98-2	4	
		渋民小学校	渋民字鶴家3	256	
		生出小学校	下田字仲平59-36	54	
		巻堀小学校	巻堀字巻堀12-1	58	
		好摩小学校	好摩字夏間木70-60	247	
		中学校	玉山中学校	日戸字鷹高39-2	24
			藪川中学校	藪川字外山28-6	3
	渋民中学校		下田字下田106	177	
	巻堀中学校		好摩字夏間木70-1	196	
	商業	小売(コンビニ)	(有)あかいし	好摩字夏間木83-47	
デイリーヤマザキ玉山好摩店			芋田字下芋田103-1		
(資)大塚屋酒造店			渋民字渋民57		
小売(食料)		伊五澤商店	好摩字夏間木3-101		
		生鮮三品の店たかむら	好摩字中塚667-2		
		(有)長坂	好摩字新田144-1		
		長澤精肉店	好摩字夏間木3-99		
		ショップ石川	渋民字岩鼻75-4		
		外地商店	下田字陣場54-240		
		なるみ食品	渋民字愛宕26		
		(有)沼清商店	渋民字駅38		
		まるよし	下田字陣場42-107		
		津志田商店	寺林字梨木平27-4		
		岡本商店	藪川字外山35-22		
		佐藤商店	藪川字外山50-1		
		島川商店	日戸字鷹高20-10		
		(株)竹澤商店	玉山字国名沢47		
藤盛商店		藪川字外山92-6			
みずさわ商店		日戸字鷹高29-1			
小売(食料・酒)		駒井酒店	好摩字上山84-37		
		(有)玉末商店	好摩字夏間木83-204		
		坂田商店	下田字下田19-1		
		澤口商店	渋民字愛宕13		
		(株)ヤマゴンコーポレーション	渋民字泉田85-1		
		上田商店	寺林字才津沢11-1		
		佐藤商店	馬場字葛巻74-1		
		藤原商店	馬場字太子堂89-1		
		伊藤酒店	下田字仲平59-52		
		沼忠商店	藪川字町村100-8		
医療		病院	成島整形外科医院	好摩字上山14-66	
			八角医院	好摩字夏間木101-2	
			八角病院	好摩字夏間木70-190	
			秋浜内科クリニック	渋民字駅73-7	
			渋民中央病院	渋民字大前田53-2	
			玉山岡本病院	下田字石羽根99-291	
		歯科	吉田歯科医院	好摩字夏間木 107-4	
			渋民歯科クリニック	渋民字泉田 67-15	
	松嶋歯科医院渋民診療室		渋民字駅 25-6		
	玉山岡本病院歯科		下田字石羽根 99-291		



図 2-4 施設の分布図

3. 交通概況

3-1 鉄道と路線バス

(鉄道)

- ・ 区内西部を IGR いわて銀河鉄道が通過し、駅が 2 箇所（渋民駅、好摩駅）ある。
- ・ 好摩駅から盛岡駅までは 25 分、630 円かかる。

(バス)

- ・ 区内を運行する路線は 5 路線運行している。鉄道と平行して運行する路線（沼宮内線と平庭高原線）は便数が比較的多い。
- ・ 鉄道駅から離れた玉山集落からは、盛岡方面へ 5 往復、渋民や好摩方面へは 4 往復である。
- ・ 主要路線が、国や県の補助によって維持されている。

表 3-1 路線バスの運行概要

No.	路線名	起点	経由	終点	運行回数	事業者	補助
1	玉山線(支所)	盛岡バスセンター		玉山支所	1	県北バス	
2	玉山線(好摩)	盛岡バスセンター		好摩駅	4	県交通	県単
3	沼宮内線A	盛岡バスセンター	アピオ	沼宮内営業所	4.5	県北バス	国庫
3	沼宮内線B	盛岡バスセンター		沼宮内営業所	5.5	県北バス	国庫
4	平庭高原線	盛岡バスセンター		久慈	5	JRバス	
5	岩泉線	盛岡バスセンター		龍泉洞前	4	JRバス	

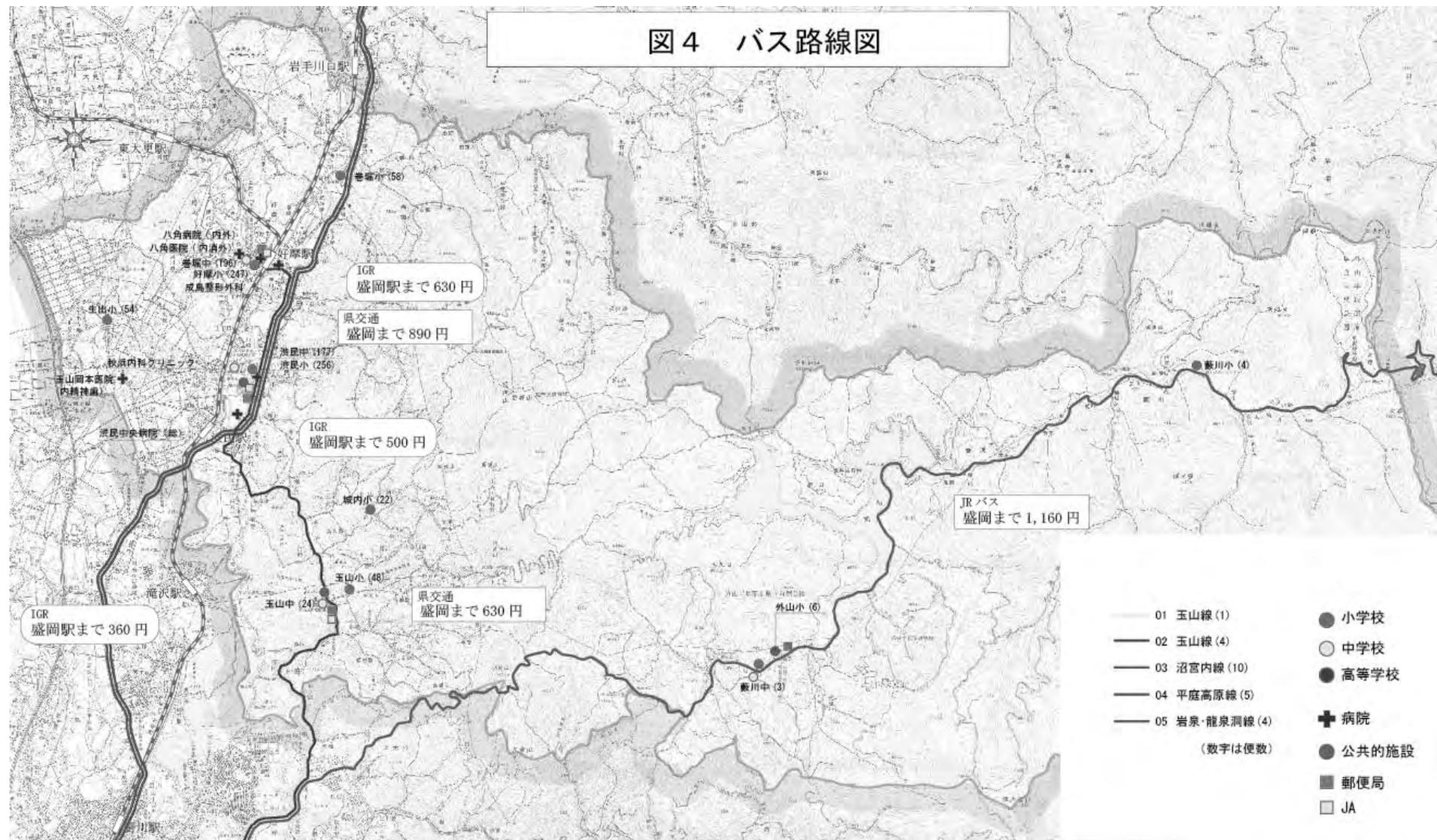


図 3-1 バス路線図

3-2 スクールバス

玉山区のスクールバスは、現在4台が運行している。小中学校のスクールバスについては、それぞれ小中学校の統廃合にあわせて運行が開始された。好摩幼稚園バスについては、3歳保育を開始したときから運行が開始されている。

車両は市の所有車両で、運行は患者輸送バスと一体的に民間事業者へ委託されている。

スクールバス車両は、登下校時間以外の時間帯で収まる場合は校外学習などにも活用されている。活用回数は、平成20年度実績で、藪川では74回、渋民で81回、巻堀で32回、好摩で48回となっており、多いところで年間4割程度、日中も活用されている状況となっている。

また、下校時刻も学校時間に合わせて変更して運行されることも少なくなく、運行時刻については1週間ないし2週間ごとに学校から教育委員会へFAXで連絡が送られ、教育委員会から運行事業者へ連絡するという体制で行われている。

表 3-2 スクールバスの運行概要

No.	学校名	ルート名	距離	送迎生徒数	時刻	車両所有(台)
1	藪川小・中	川場	4.0km	2名	7:30 川場 7:35 藪川小	市 29人乗り*
		川場	25.0km	3名	(6:55 藪川中) 7:20 川場 7:50 藪川中	
		大の平(冬)	2.0km	3名	7:55 大の平 8:05 藪川中	
2	渋民中	生出	16.9km(夏) 18.0km(冬)	38名	7:40 生出 8:10 渋民中	市 26人乗り
3	巻堀小・中	葛巻		2名(小) 1名(中)	7:35 葛巻 8:00 巻堀小 8:05 巻堀中	市 9人乗り
4	好摩幼稚園			18名	8:45 好摩幼稚園	市 26人乗り

*藪川小中学校の車両は、平成22年4月から15人乗りに変更する予定である。

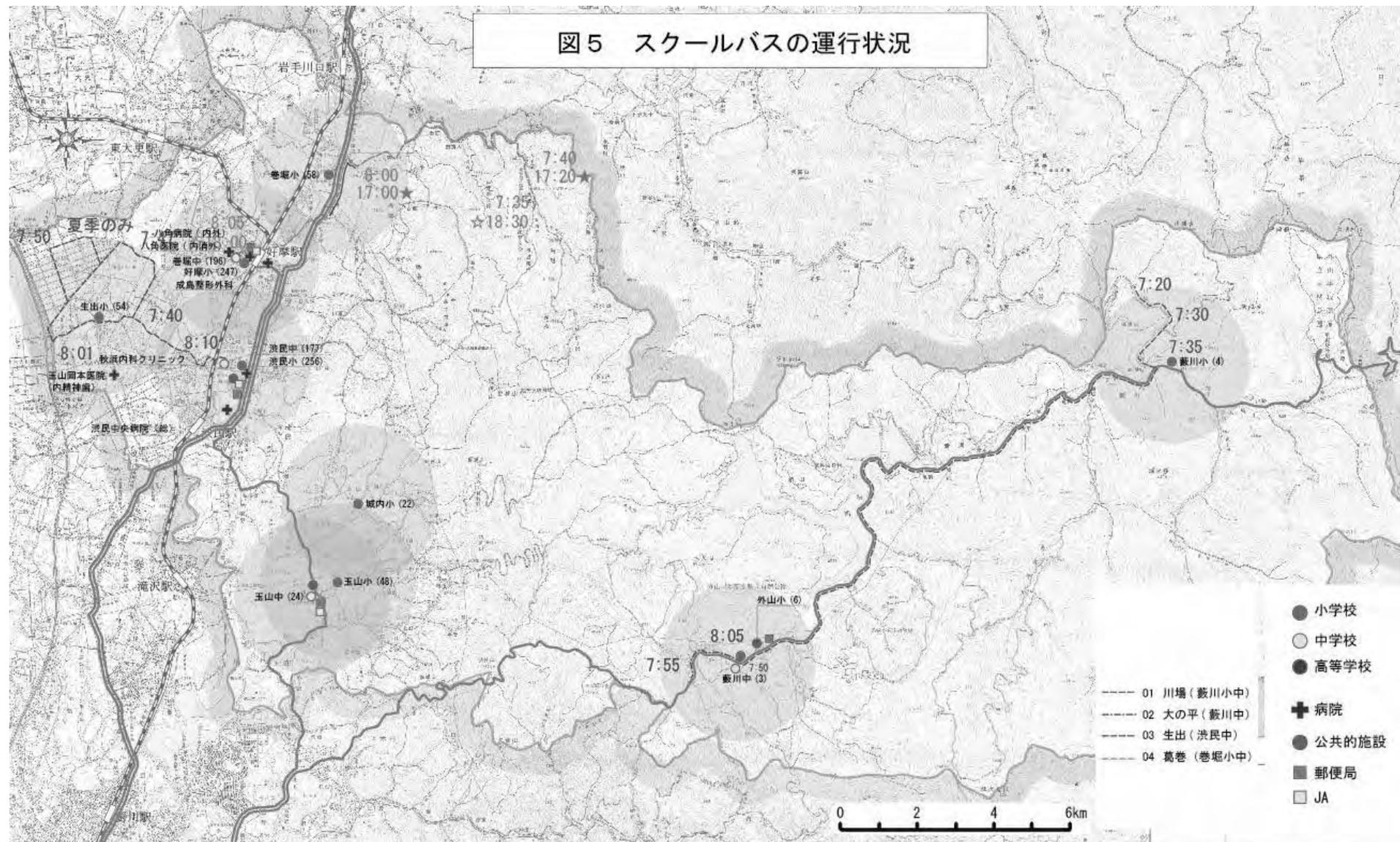


図 3-2 スクールバス路線図

*グレーの円は、半径 2km を示す。

3-3 患者輸送バス（盛岡市玉山区運営）

玉山区内の集落を網羅するように走っており、全部で12コースが運行している。

各コースは、週1回、1日1往復運行しており、運行時間は、朝は病院に10時頃、帰りは13時頃運行している。車両は、市の所有車両（29人乗りマイクロバス）3台で運行している。

利用者は無料で利用でき、運行費は市が事業者に対し、スクールバスと共に委託して運行している。委託費は年間1800万円程度である。

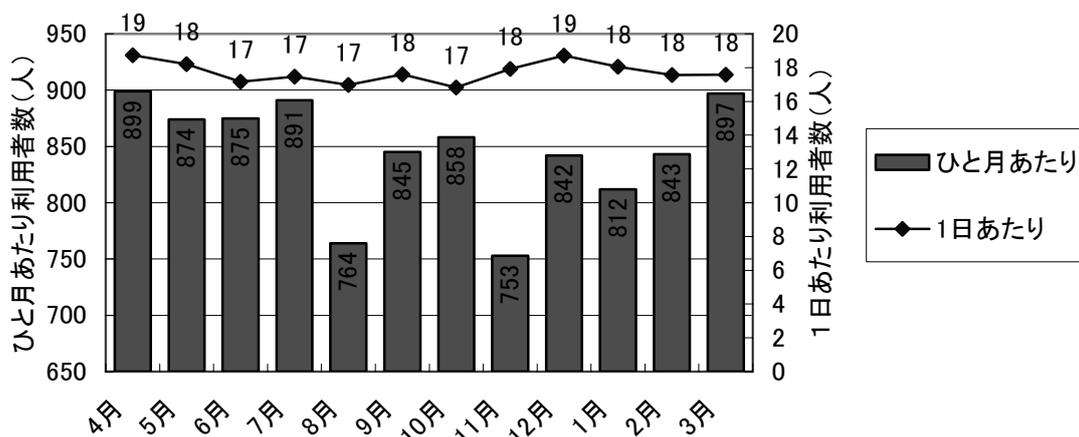


図 3-3 ひと月あたりの利用者数（月別推移）

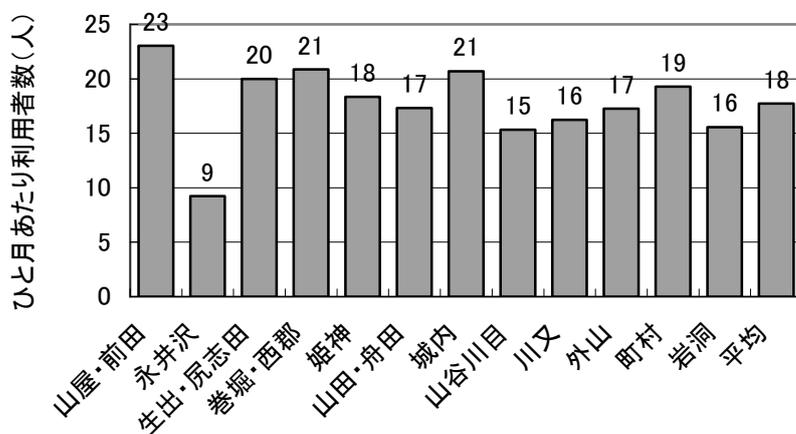


図 3-4 ひと月あたりの利用者数（路線別）

図6 患者輸送バスの運行状況



4. 公共交通を取り巻く環境

■玉山区の生活交通の概観

- ・ 盛岡の通勤圏であり、通勤や通学では、鉄道が利用される。
- ・ 路線バスは、鉄道と平行して運行しており、盛岡までの運賃もほぼ同程度である。
- ・ 路線バスが利用できない地域が多く、無料患者輸送バスやスクールバスが走っている。
- ・ 無料の患者輸送バスが走行しており、公共交通を必要とする高齢者の生活交通としての役割を果たしている。

■想定される課題・問題

- ・ 国や県の補助を受けて維持されている路線バスでは、利用者が減れば補助要件を満たさなくなる可能性があり、その場合、市としてどのように対応すべきか考え方を整理しておく必要がある。
- ・ 公共交通の空白地域は広いが、無料の患者輸送バスがほぼすべての集落を網羅するように運行しており、生活の足の役割を果たしていることが考えられる。
- ・ 鉄道が盛岡までの通勤や通学の主要な手段となっているが、駅までのバスではなく、駅勢圏（おおよそ半径 2km といわれる）では自転車や徒歩、それより遠い場所では送迎などで駅へアクセスしている可能性があり、ニーズがあると考えられる。
 - 平成 20 年度にまちなか循環路線の実験を行っていることから、その成果も含めて、まちなか移動については検討が必要である。

5. 利用実態調査

5-1 路線バス

(1) 調査概要

【調査期間】

2009年9月7日(月)～9日(水)

【調査対象】

- | | |
|------------------------|----------------|
| ①玉山線1(盛岡バスセンター～好摩駅) | 運行回数4回、岩手県交通 |
| ②玉山線2(盛岡バスセンター～玉山支所) | 運行回数1回、岩手県北バス |
| ③沼宮内線(盛岡バスセンター～沼宮内営業所) | 運行回数10回、岩手県北バス |
| ④平庭高原線(盛岡駅～久慈) | 運行回数5回、JRバス東北 |
| ⑤岩泉線(盛岡駅～龍泉洞) | 運行回数4回、JRバス東北 |

(*「運行回数」は、1日あたりの運行便数を指す。1回=1往復)

【調査方法】

調査員が乗車し、乗客に対して質問紙を配布し、車内で回収する。

高齢者などに対しては、直接聞き取り調査を行う。

【調査項目】

- 質問1 乗車バス停と降車予定のバス停
- 質問2 今日の外出目的
- 質問3 年齢
- 質問4 性別
- 質問5 利用頻度
- 質問6 ご自宅からバス停までの徒歩時間
- 質問7 居住地



写真 沼宮内線の車両(盛岡バスセンターにて)



写真 車内での調査の様子

【利用者の姿】

表 5-1 年齢別利用者数

	沼宮内線	玉山線	玉山線2	平庭高原線	岩泉線	総計
10代	66	9	7	3	6	91
20代	33	4	7	7	17	68
30代	12	2	4	3	10	31
40代	30	5	5	5	9	54
50代	30	7	7	8	21	73
60～64歳	45	10	1	15	17	88
65～69歳	59	21	3	4	13	100
70代	20	7	1	1	9	38
不明	10	1		4	1	16
総計	305	66	35	50	103	559

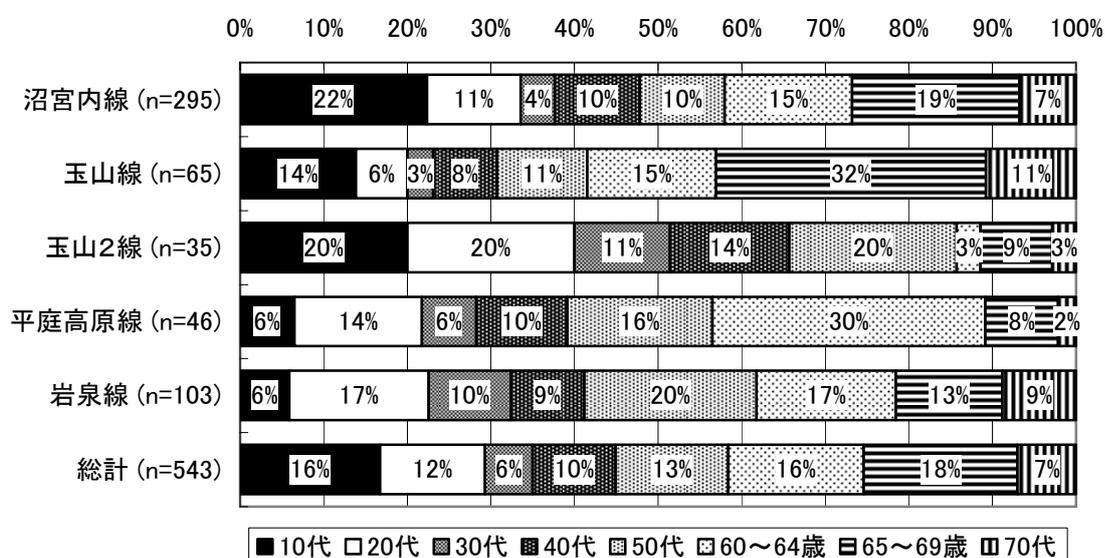


図 5-1 路線別年齢構成

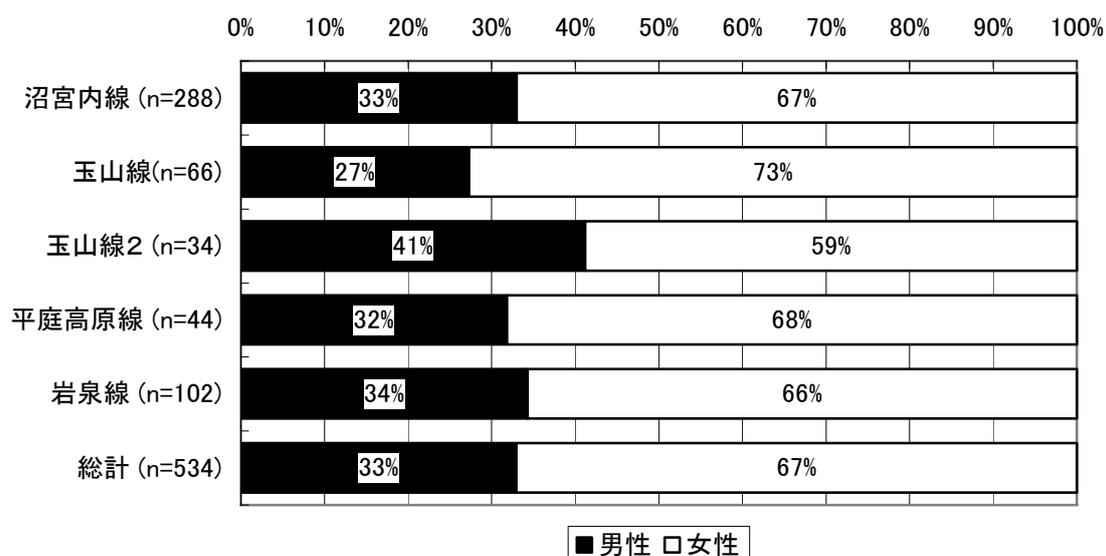


図 5-2 路線別性別

(2) 路線別の利用状況

(目的別)

- ・ 沼宮内線と玉山線2（玉山支所～盛岡バスセンター）の利用が比較的多い。
- ・ 目的別では、玉山線2は通勤が63%を占めて多い。
- ・ 沼宮内線や玉山線は通勤や通学、通院、その他など目的が多様である。
- ・ 平庭高原線はその他、岩泉線は観光利用が多いという特徴がある。

表 5-2 路線バス調査結果

単位：人

路線	通勤	通学	通院	買い物	観光	その他	不明	総計	便数	1便平均
沼宮内線	70	69	59	34	2	50	21	305	20	15.3
玉山線	16	7	17	6	1	14	5	66	10	6.6
玉山線2	22	6	4	1		1	1	35	2	17.5
平庭高原線	8		12	3	6	23	5	57	10	5.7
岩泉線	10	1	17	6	43	22	4	103	8	12.9
総計	126	83	109	50	52	110	36	566	50	11.3

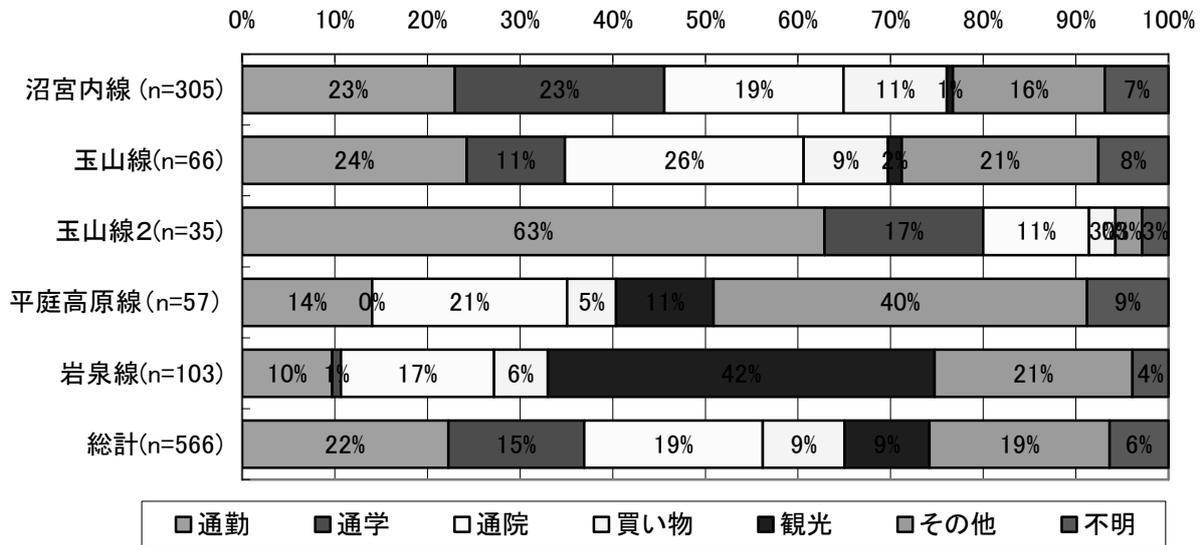


図 5-3 目的別利用者数

(バスの利用頻度)

- ・ 通勤や通学目的での利用頻度はほぼ毎日利用
- ・ 通院は「月に1～3回」が45%、「月4～10回」が44%となっており、多くても週に2回程度である。
- ・ 買い物の利用頻度は、通院よりもやや多く、「月に1～3回」は36%に留まり、「月4～10回（週に1～2回）」が40%、「月11回以上（週に2回以上）」が2割を占める。
- ・ 路線別に見ると、通勤や通学の多い玉山線2（玉山支所～盛岡バスセンター）は、およそ8割がほぼ毎日バスを利用している。平庭高原線や岩泉線はほとんどが週2回以下である。

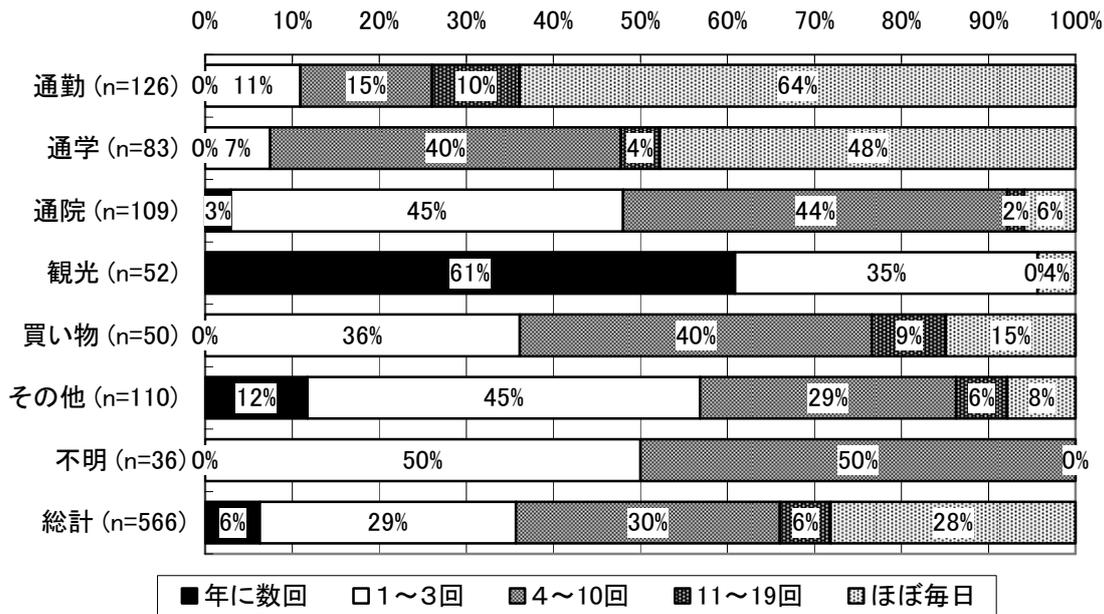


図 5-4 目的別のバスの利用頻度

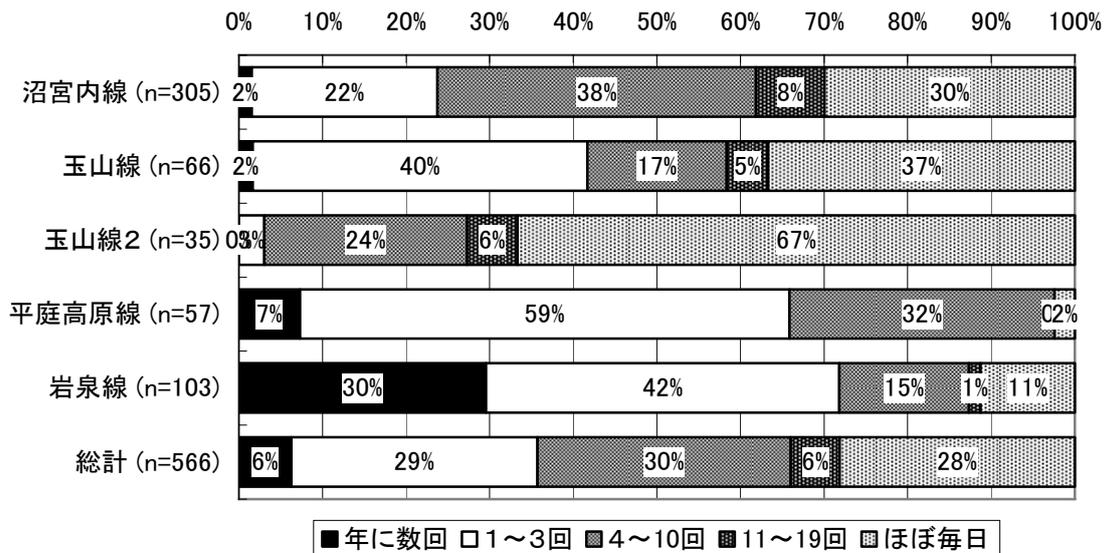


図 5-5 路線別のバスの利用頻度

(居住地)

- ・ 玉山線は玉山区の利用者が半数を占めて多い。
- ・ 通勤利用の多い玉山線2は玉山区を除く盛岡市の利用が8割を占める。
- ・ 沼宮内線は、盛岡市以外の利用が多い。
- ・ 玉山区内で見ると、渋民、玉山、門前寺に集中している。好摩以北ではバスはほとんど使われていない。

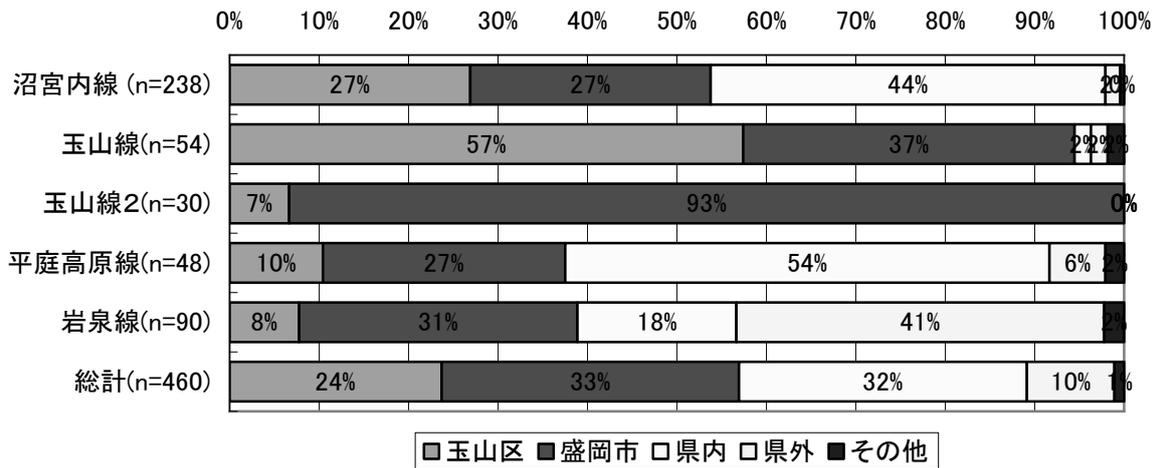


図 5-6 路線別の利用者の居住地

表 5-3 玉山区の利用者割合

住所	回答数	割合
渋民	36	33%
玉山	20	18%
門前寺	12	11%
巻堀	8	7%
日戸	7	6%
永井	6	6%
下田	4	4%
好摩	4	4%
藪川	4	4%
外山	1	1%
寺林	1	1%
川又	1	1%
玉山区内	5	5%
総計	109	100%

(自宅からバス停までの徒歩時間)

- どの地域でも、3分以内でバス停までアクセスできる人の割合が3割前後、5分以内になると5割となる。
- 盛岡市は15分以内でアクセスできる割合が8割となっているのに対して、玉山区では30分以上も13%いるなど、比較的バス停までの距離が遠くてもバスを利用している状況がうかがえる。

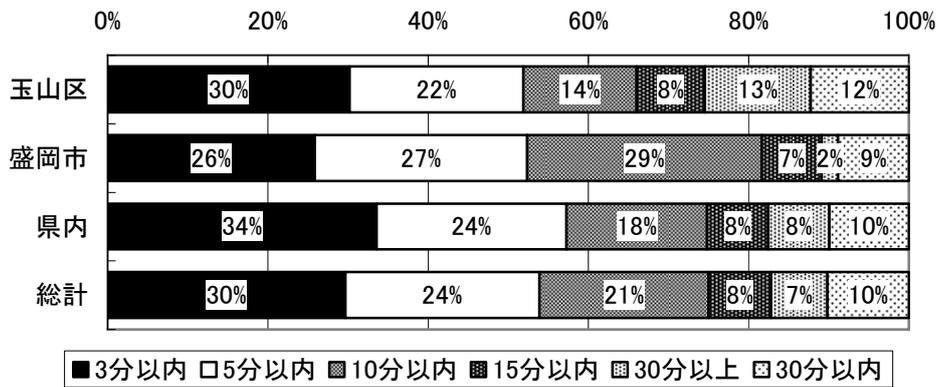


図 5-7 自宅からバス停までの徒歩時間

(3) 沼宮内線（盛岡バスセンター～好摩駅）の概況

- ・ 沼宮内線は 10 往復あり、盛岡市～滝沢村～岩手町を結ぶ広域路線である。IGR が平行して走っており、それぞれの主要バス停は駅と連結している。
- ・ バスの利用目的（外出目的）は、各目的が平均的であり、多様な目的での乗合が実現している。
- ・ 通学は、沼宮内方面から滝沢村内の盛岡農業高校への通学が多い。盛岡大学も沿線にあるが利用は少ない。
- ・ 上下便とも、夕方は盛岡バスセンター～盛岡駅間の利用が多い。

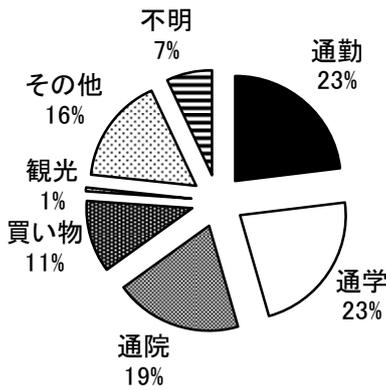


図 5-8 目的別の割合

表 5-4 路線の利用状況

便	時間	盛岡市街	またぐ	玉山区内	合計	
下1	7:20	1	2	6	9	33%
下2	9:00	3	1	2	6	17%
下3	11:05	2	4	5	11	
下4	12:05	3	11	1	15	67%
下5	13:05	7	10	2	19	21%
下6	14:05	8	6	2	16	6%
下7	15:05	2	7	1	10	30%
下8	16:15	14	19		33	39%
下9	16:43	25	16	2	43	60%
下10	17:33	14	10	1	25	64%
上1	7:08	11	33	1	45	47%
上2	7:58	3	9	3	15	20%
上3	8:48	6	10	2	18	6%
上4	9:33	3	10	4	17	24%
上5	10:28	4	11	5	20	20%
上6	12:03	3	14	5	22	9%
上7	13:48	3	8	3	14	43%
上8	15:18	8	1	5	14	21%
上9	17:20	29	5	3	37	41%
上10	18:25	14	4	2	20	15%
沼宮内 集計		163	191	55	409	34%
割合		40%	47%	13%	100%	

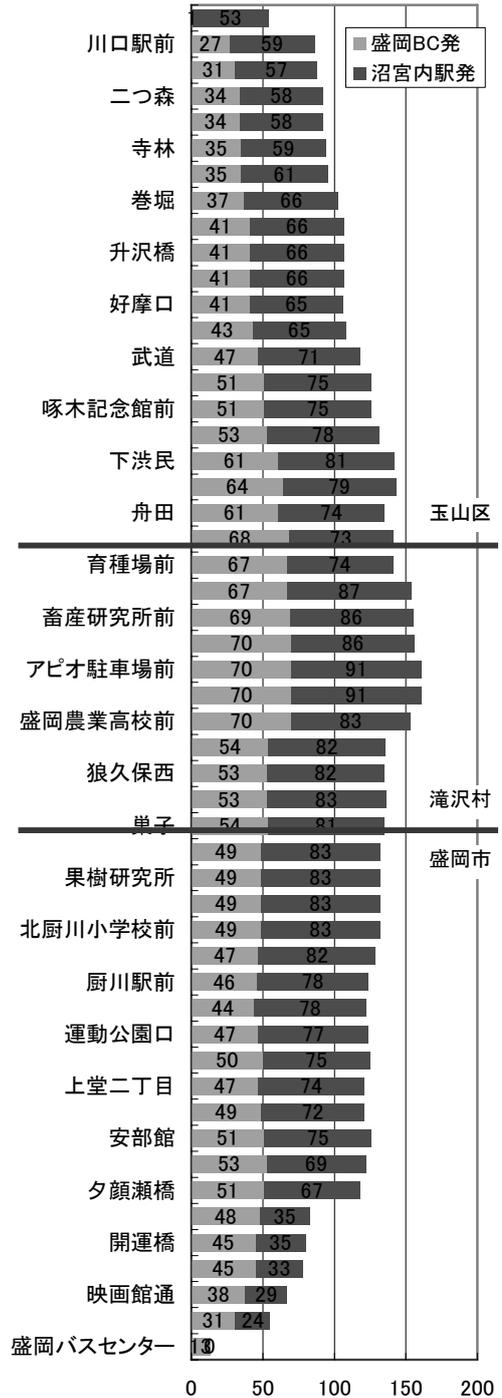


図 5-9 バス乗車人数

(4) 玉山線 1 (盛岡バスセンター～好摩駅) の概況

- ・ 通勤と通院の利用が多い。
- ・ 盛岡市街で完結する乗降が全体の 42%、玉山と盛岡をまたぐ利用が 33%を占める。
- ・ 玉山区内で完結する利用は、小中学生の通学利用を除くとほとんどない。

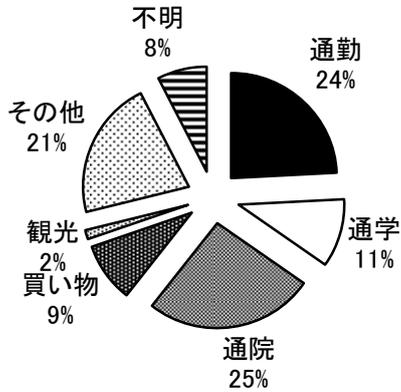


図 5-10 目的別の割合

表 5-5 路線の利用状況

便	時間	盛岡市街	またぐ	玉山区内	合計	
下1	7:00	1	1	7	9	100%
下2	11:55	6	3	3	12	
下3	14:00	5	7		12	25%
下4	16:05	7	4		11	27%
上1	8:07	6	6	3	15	47%
上2	13:07		2	3	5	
上3	15:25					
上4	17:17	4		1	5	20%
玉山 集計		29	23	17	69	33%
割合		42%	33%	25%	100%	

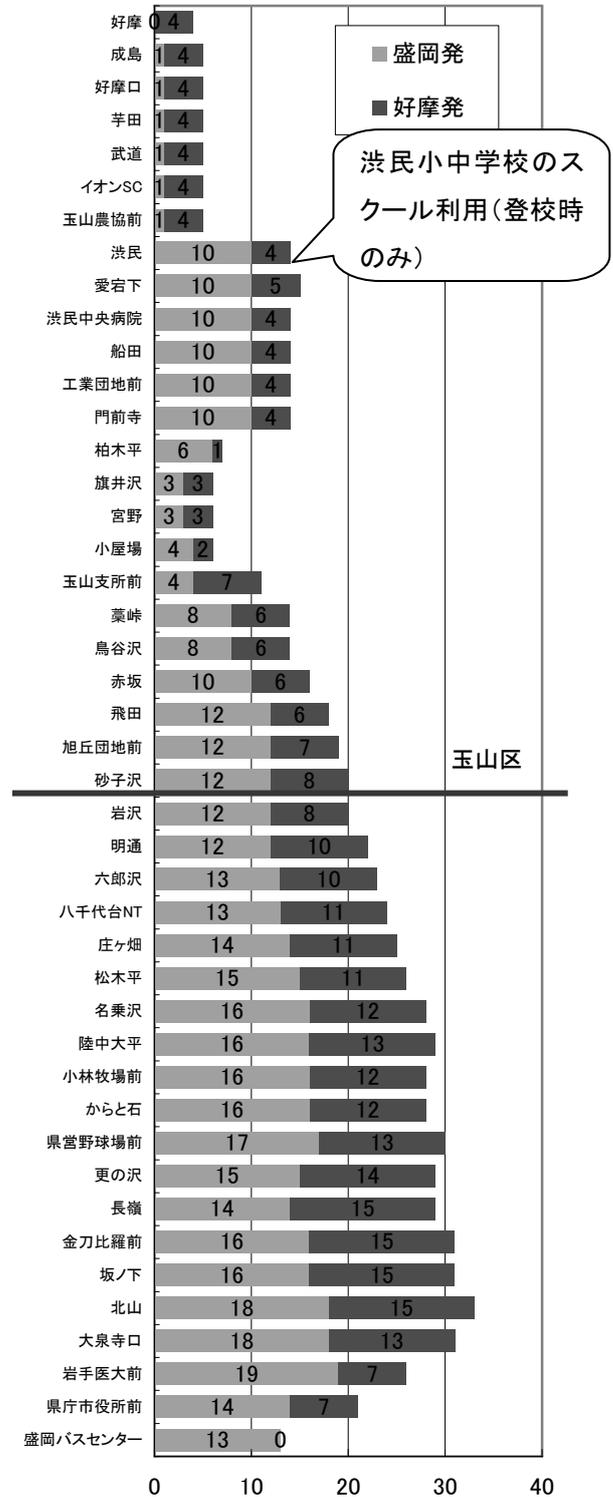


図 5-11 バス乗車人数

(5) 玉山線2（盛岡バスセンター～玉山支所）の概況

- ・ 朝 7:10 に支所前を出て、18:00 に盛岡バスセンターを出発する 1 往復の運行である。
- ・ 帰りに玉山区内へ帰る利用があるが、利用者としては少なく、9 割が盛岡市街で完結する移動となっている。
- ・ （ただし、曜日によっては、玉山区内の無料の患者輸送バスに乗って玉山支所で乗り継いで、盛岡市街の病院まで通院利用することも確認されている。）
- ・ 庄ヶ畑より盛岡側には、桜台団地線や青山松園線など多くの便が確保されているが、八千代台ニュータウンからは玉山線のみとなり、生活の足を支えている。

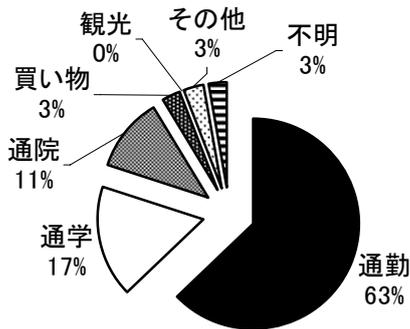


図 5-12 目的別の割合

表 5-6 路線の利用状況

便	時間	盛岡市街	またぐ	玉山区内	合計	
下1	18:00	23	4		27	78%
上1	7:10	8			8	88%
玉山2 集計		31	4		35	80%
割合		89%	11%		100%	

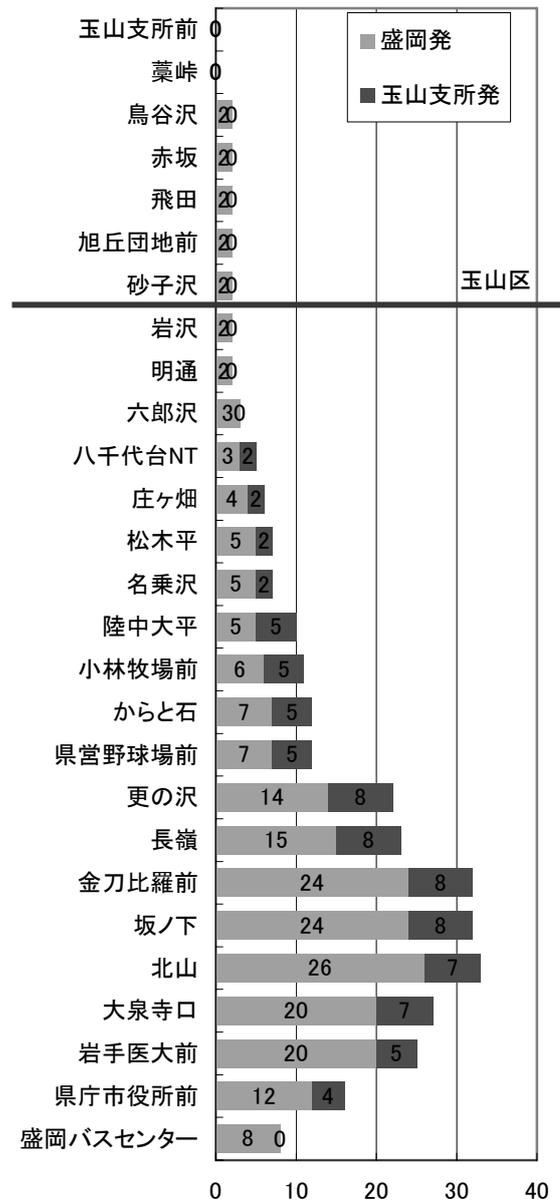


図 5-13 バス乗車人数

(6) 平庭高原線の概況

- ・ 盛岡駅から川口駅までの間で途中下車はほとんどみられず、玉山区民の利用はほとんどない。
- ・ 盛岡駅発の利用のほうが多い。

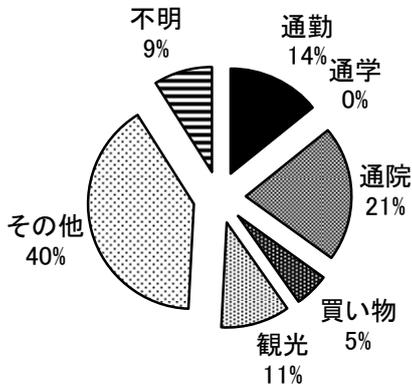


図 5-14 目的別の割合

表 5-7 路線の利用状況

便	時間	盛岡市街	またぐ	玉山区内	合計	通勤・通学率
下1	6:30		4		4	
下2	10:15		5		5	
下3	13:05	1	8		9	22%
下4	15:10		12		12	8%
下5	18:00		6		6	50%
上1	8:47				欠	
上2	10:52		6		6	17%
上3	14:22		5		5	
上5	19:22		3		3	
平庭高原 集計		1	49		50	16%
割合		2%	98%		100%	

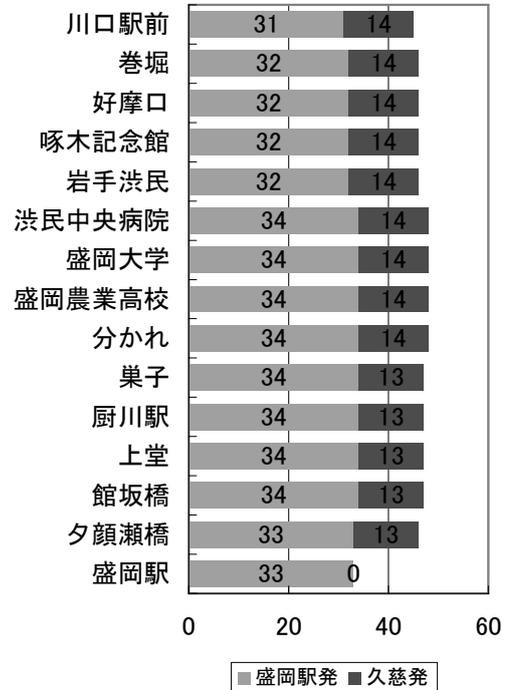


図 5-15 バス乗車人数

(7) 岩泉線の概況

- ・ 観光利用が多い。
- ・ 平庭高原線と同様に途中乗降はほとんどなく、玉山区民の利用はない。
- ・ 盛岡市街での乗降は多少みられる。

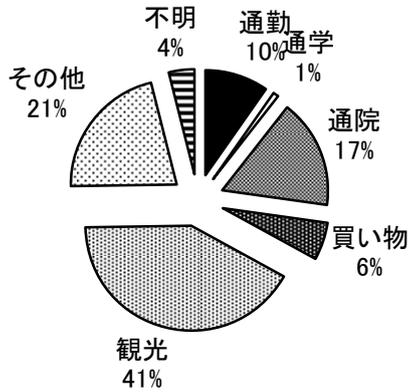


図 5-16 目的別の割合

表 5-8 路線の利用状況

便	時間	盛岡市街	またぐ	玉山区内	合計	通勤・通学率
下1	9:40	2	12		14	
下2	12:40	3	8		11	
下3	14:40	4	5		9	11%
下4	17:40		11		11	18%
上1	6:43	7	11		18	39%
上2	9:49	5	7		12	8%
上3	14:18	4	11		15	
上4	16:48	2	11		13	
岩泉 集計		27	76		103	11%
割合		26%	74%		100%	

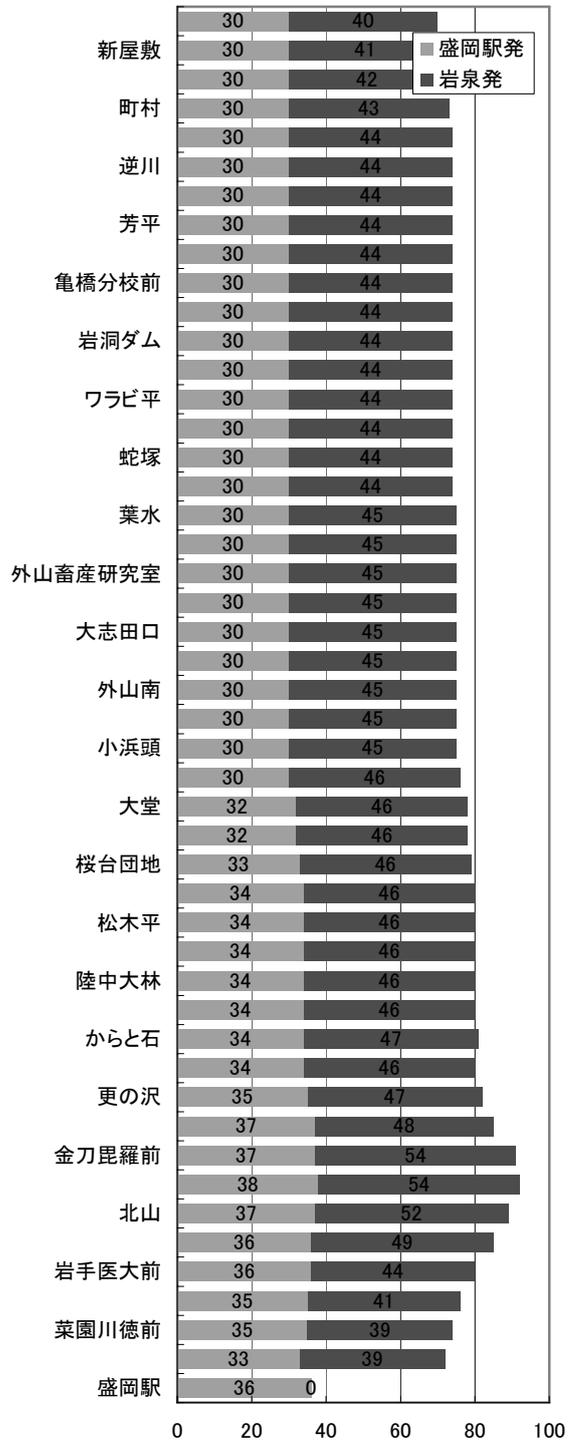


図 5-17 バス乗車人数

5-2 患者輸送バス

(1) 調査概要

【調査期間】 2009年11月9日(月)、10日(火)、12日(木)、13日(金)

【調査対象】

12コース、各1往復

運行コース	1台目	行き	帰り
月曜日	玉山地区(城内、二子沢、畑井沢)*	9:20	13:15
火曜日	玉山地区(山谷川目、白沢)	9:35	13:15
木曜日	山田、生出、柴沢、西舟田地区	9:20	13:15
金曜日	山田、生出野、刈屋、尻志田地区	9:30	13:15
運行コース	2台目	行き	帰り
月曜日	山屋沢目、前田地区	9:30	13:00
火曜日	永井沢、元好摩、好摩沢地区	9:15	13:00
木曜日	玉山地区(川又、釘の平、日戸)*	9:15	13:00
金曜日	姫神地区	9:30	13:00
運行コース	3台目	行き	帰り
月曜日	外山地区	9:25	13:45
火曜日	町村地区	9:00	13:45
木曜日	岩洞地区	9:10	13:45
金曜日	大平・西郡・巻堀地区	9:00	13:00

*は、県交通の路線廃止に伴い、地元との協議により、患者輸送バスの運行の前に玉山支所前まで送迎を行なっている路線

【調査方法】

調査員が乗車し、乗客に対して、直接聞き取り調査を行う。

【調査項目】

- 質問1 乗降バス停
- 質問2 利用頻度、バス停までの徒歩距離
- 質問3 不便を感じるか
- 質問4 その理由
- 質問5 普段の外出状況
- 質問6 外出に不便を感じるか

(2) 調査結果

(利用者数)

- ・ 利用者数は、どの便も 10 人～20 人と多く、ほぼ満席となるコースも多い。
- ・ ほとんどが、往復ともに利用している。

コース	利用者数
町村地区	21
外山地区	20
山田・生出野・刈屋・尻志田	20
山屋沢目、前田地区	19
生出・柴沢・西舟田	19
玉山地区(山谷川目、白沢)	17
玉山地区(城内、二子沢、畑井沢)	17
岩洞地区	16
大平地区	16
玉山地区(川又、釘の平、日戸)	15
姫神地区	13
永井沢 元好摩 好摩沢地区	8
総計	201

(利用者の属性)

- ・ 年齢は、ほぼ 65 歳以上である。特に、70 代後半からの利用者多い。
- ・ 性別は、女性が約 9 割を占めて多い。

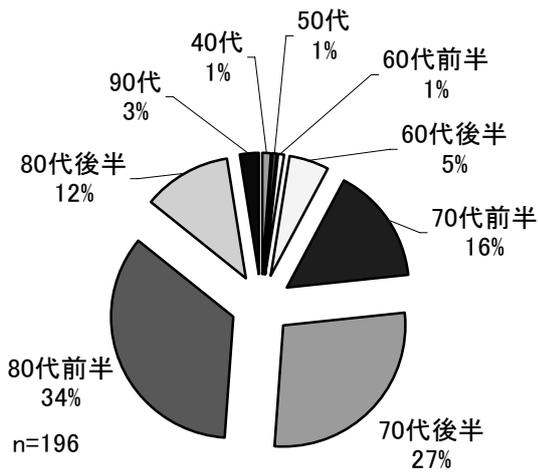


図 5-18 年齢構成

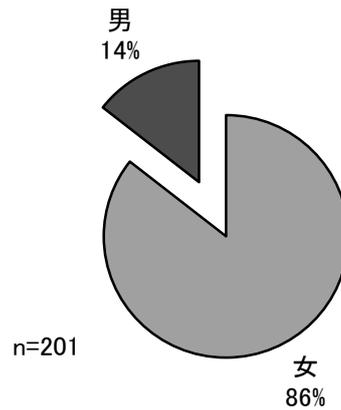


図 5-19 性別

(患者輸送バスの利用頻度)

- ・ 毎週利用している人が半数を超える。

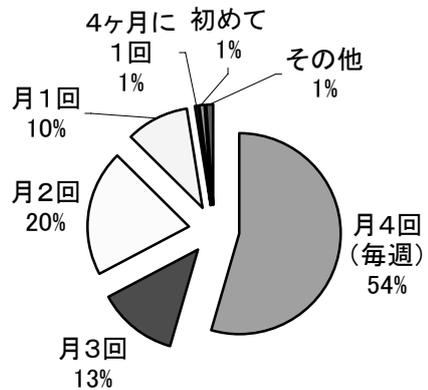


図 5-20 利用頻度

(患者輸送バスに不便を感じるか)

- ・ 「不便を感じない」が約9割を占める。
- ・ 不便を感じる理由としては、「時間を変更して欲しい」という回答が多い。(具体的には、「病院が混むので9時前に行きたい」という要望が多い)
- ・ 便数や日数を増やして欲しいという意見の理由としては、「毎日のように行かなければならない人のために増便をすべき」「盛岡行きの路線バスに乗り継げるようにして欲しい」「8時頃に増便して欲しい」という意見がある。

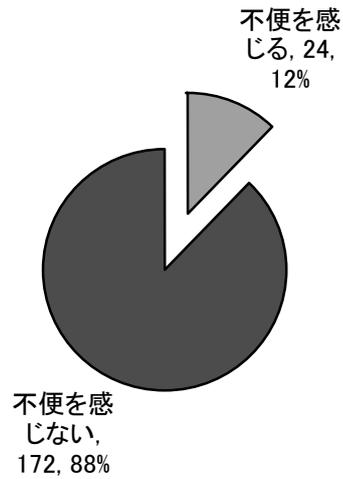


図 5-2 1 患者輸送バスを不便に感じるか

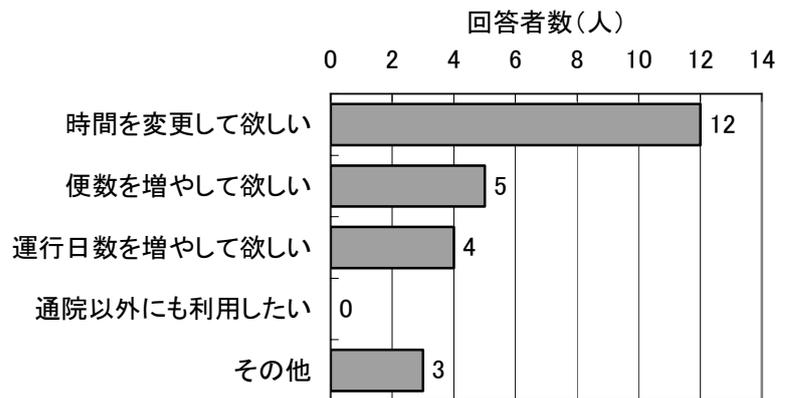


図 5-2 2 不便を感じる理由

(現在の外出環境に不便を感じるか)

- ・ 「不便を感じない」が7割を占めるが、「不便を感じる」割合も3割いる。
- ・ 感じない理由としては、「患者輸送バスがあるから」が主な内容となっている。
- ・ 感じる理由としては、「(盛岡行き)路線バスのバス停が遠い」という意見が最も多い。次いで、「(盛岡行き)路線バスの時間が7時半と早い」という意見となっており、盛岡行きの路線バスが使いづらいことが主な要因となっている。

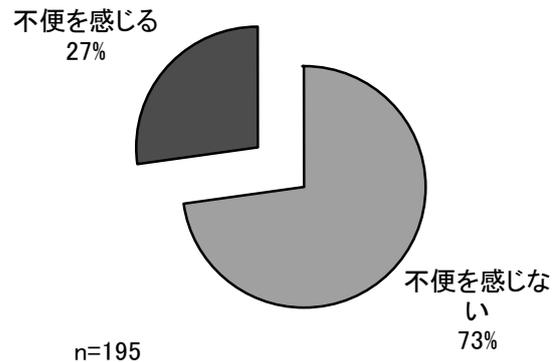


図 5-23 不便さ

(理由)

不便を感じるか	理由	回答数
不便を感じない	患者輸送バスがあるから	74
	家族が送迎してくれるから	1
	自分で運転できるから	1
	無回答	32
小計		108
不便を感じる	患者輸送バスの便数や日数を増やして欲しい	11
	その他(足がない)	13
	無回答	18
小計		42
総計		150

6. 生活交通調査

6-1 調査概要

【調査期間】

15歳以上の玉山区住民を対象に、1000人を受作為抽出し、調査票の郵送配布、郵送回収により実施した。

【調査期間】

12月1日配布～ 12月13日（日） 回収締め切り

【回収率】

有効回答票数は503票（回収率 50%）

表 6-1 地区の回収率

地区	配布数	回答数	構成比	回答率
松内	18	13	3%	72%
好摩	291	147	29%	51%
永井	29	12	2%	41%
寺林	18	11	2%	61%
巻堀	16	13	3%	81%
馬場	31	10	2%	32%
芋田	33	14	3%	42%
洪民	129	73	15%	57%
門前寺	19	12	2%	63%
下田	263	86	17%	33%
川崎	13	5	1%	38%
玉山	48	33	7%	69%
日戸	31	21	4%	68%
川又	35	15	3%	43%
上田	4	2	0%	50%
藪川	22	19	4%	86%
不明	—	17	3%	—
総計	1,000	503	100%	50%

6-2 調査結果概要 （詳細については、巻末資料 1 を参照）

■回答者の姿

- ・ 回答者の居住地は、IGR 駅に近い好摩が 29%、下田が 17%、渋民が 15%と、この 3つの地区で全体の 6割を占める。
- ・ 運転免許の保有状況は、男性が 8割、女性が 6割であり、男性は、70代以上も半数が免許を保有している。女性の 70代以上はほとんど免許を持っていない。
- ・ 外出回数は、60代前半と 70歳以上では 2割前後が一度も外出していない状況となっている。70歳以上の地区別の平均回数をみると、郊外のほうが、駅周辺と比べて外出回数は少なく、約 3割が外出していない状況となっている。

■通勤や通学

- ・ 行き先は、玉山区内を除くと、盛岡駅や滝沢駅が多い。
- ・ 通勤・通学方法は、8割が自動車であり、鉄道とバスが約 2割を占める。
- ・ 好摩より北側ではバスの利用は少ないが、区の南部では鉄道と同程度のバス利用が行われている地区もある。
- ・ 鉄道駅までは、鉄道の利用が多い好摩では徒歩や自転車が多く、比較的鉄道が利用しやすい状況がうかがえる。

■通院

- ・ 行き先は、玉山区内を除くと、盛岡駅や滝沢駅が多い。
- ・ 回答者の半数が定期的に通院している。特に高齢者は大半が定期的通院を行っている。
- ・ 通院先は、玉山区と盛岡方面の両方に行く人が 4割、盛岡方面のみが 4割を占め、盛岡方面に通院する人が多い。
- ・ 玉山区内の病院には、患者輸送バスが 7%に対して、路線バスはほとんど利用がない。
- ・ 盛岡方面へ行く手段としては、鉄道が 19%を占めて多い。バスの利用も 10%ある。

■外出環境の満足度 ～便利に移動ができているか～

- ・ 「便利に移動ができているかどうか」について、外出目的別に聞いた結果、どの目的も 70代以上を除いて「できている」が過半数を占め、「おおむねできている」を加えると大半の人が満足している状況となっている。
- ・ しかし、全般的に 70歳以上は不便を感じている状況となっており、「できている」と感じている人が半数を下回る。特に通院は、「おおむねできている」を加えても 6割程度であり、4割が不便を感じている状況となっている。
- ・ 不便を感じる理由としては、「移動手段がない」と回答する割合は 10代が 60%と多い。60代以上は 3割を占める。70代以上では「体力的につらい」という理由も 33%（3人に 1人）が挙げて高い要因となっている。

■ 改善してもらいたいと思うこと

- ・ 改善を期待することとしては、全体では「玉山区内のまちなかを循環するようなバスを走らせて欲しい」が24%、「患者輸送バスを続けて欲しい」が22%と多い。
- ・ 地域的には、好摩や下田など駅が近く、患者輸送バスに頼る人が少ない地域では、街なか循環を望む意見が比較的多い。郊外に位置している地域では「患者輸送バスの継続」を期待する意見が比較的多い。

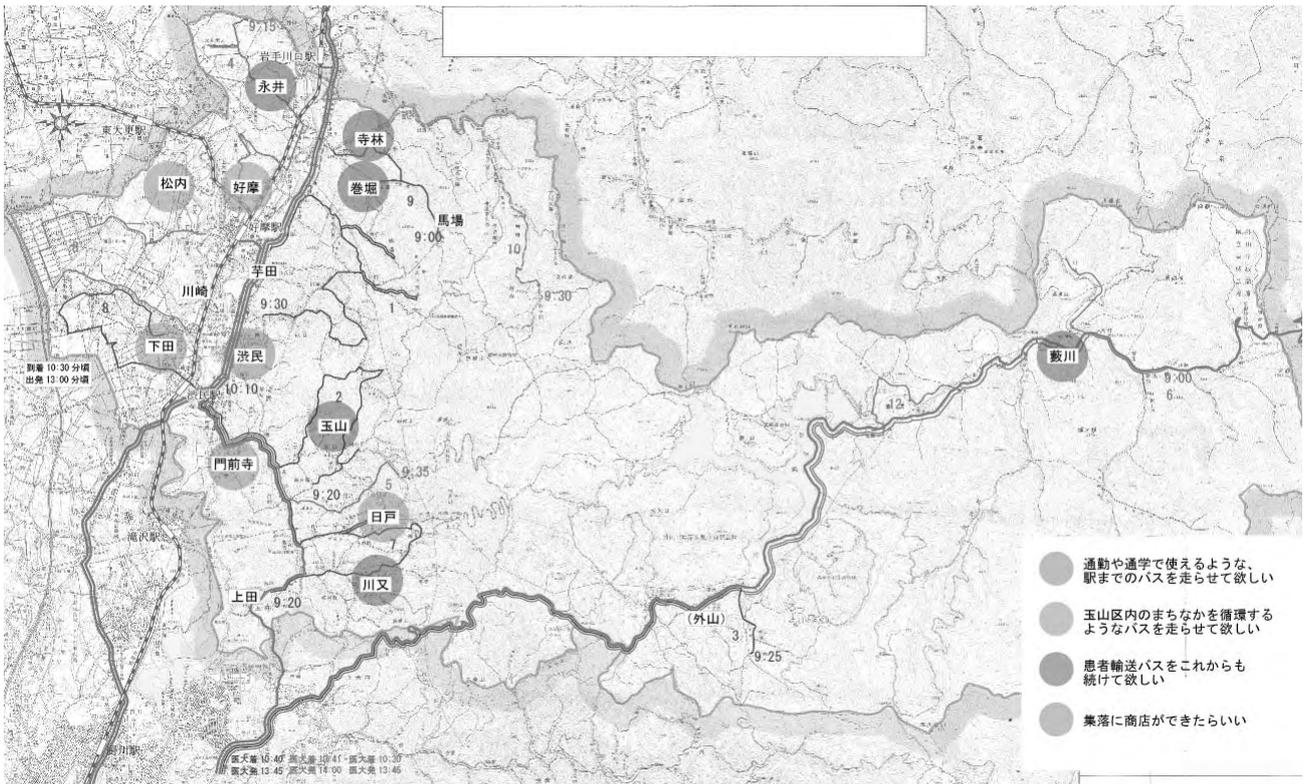


図 6-1 改善を期待すること（第一位で色分け）

7. 玉山区の住民との意見交換

7-1 開催概要

今年度の調査結果をとりまとめ、玉山区の住民の代表と意見交換を行った。

日 時：平成 22 年 2 月 12 日(金) 14:30～16:00

場 所：盛岡市玉山総合事務所会議室

目 的：

- ① 今年度、NPO と協働で調査事業として、基礎資料の収集や整理、現状のバスの利用実態調査、アンケート調査を行った。これらの調査結果の情報を共有する。
- ② 公共交通の問題や方向性を共有する

7-2 意見交換

■住民の代表

- ・ 好摩の駅まで、歩いて 10 分。駅までほとんど送迎している。駅までのアクセスがあるといい。お年寄りの方は、タクシーで行っている。
- ・ 駅には駐車場がない。送り迎えにも駐車場が必要。
- ・ 患者輸送バスに楽しみで乗ってくる人がいる。病院の前で寝ている人もいる。
- ・ IGR を使うにしても、集落が点在しているので、駅までの足がない。
- ・ 通学はすべて送迎している。その時間にバスを通すとしても、家が点在しているので、難しいだろう。
- ・ バスの便数が多ければ、バスに転換できるだろうが、1 時間に数本であれば、バスに乗り換えないだろう。
- ・ 患者輸送バスは地域にとってはありがたい。
- ・ 患者輸送バスがなくなると一番大変である。
- ・ 路線バスがあるので、寒さが厳しいけれど、公共交通としては、いいのではないかと思う。
- ・ ニーズに対応した時間かどうか疑問が残る
- ・ 県道まで来られない。路線沿線まで送るなら、盛岡市街まで送った方が早いという認識がある。(玉山)
- ・ バスを小型化して、枝線まで走って欲しい。
- ・ 通勤者はほとんどマイカー。高校生もほとんど送迎。バスの時間が合わない。
- ・ 患者輸送バスをもう少し活用する方法はないか。例えば、患者はただで、それ以外の方は有料にするなど。誰でも利用できるようにして欲しい。
- ・ 高校生は朝通学は送り迎え。朝が特に四苦八苦している。忙しいときの朝晩の送り迎え。親も働いている。
- ・ スクールバスの利用についても、お願いをしていたが、解決できていない。スクールバスを利用できる体制づくりが欲しい。
- ・ 足が悪い人は、路線バスはステップが高くて乗れない。小さいバスでいい。

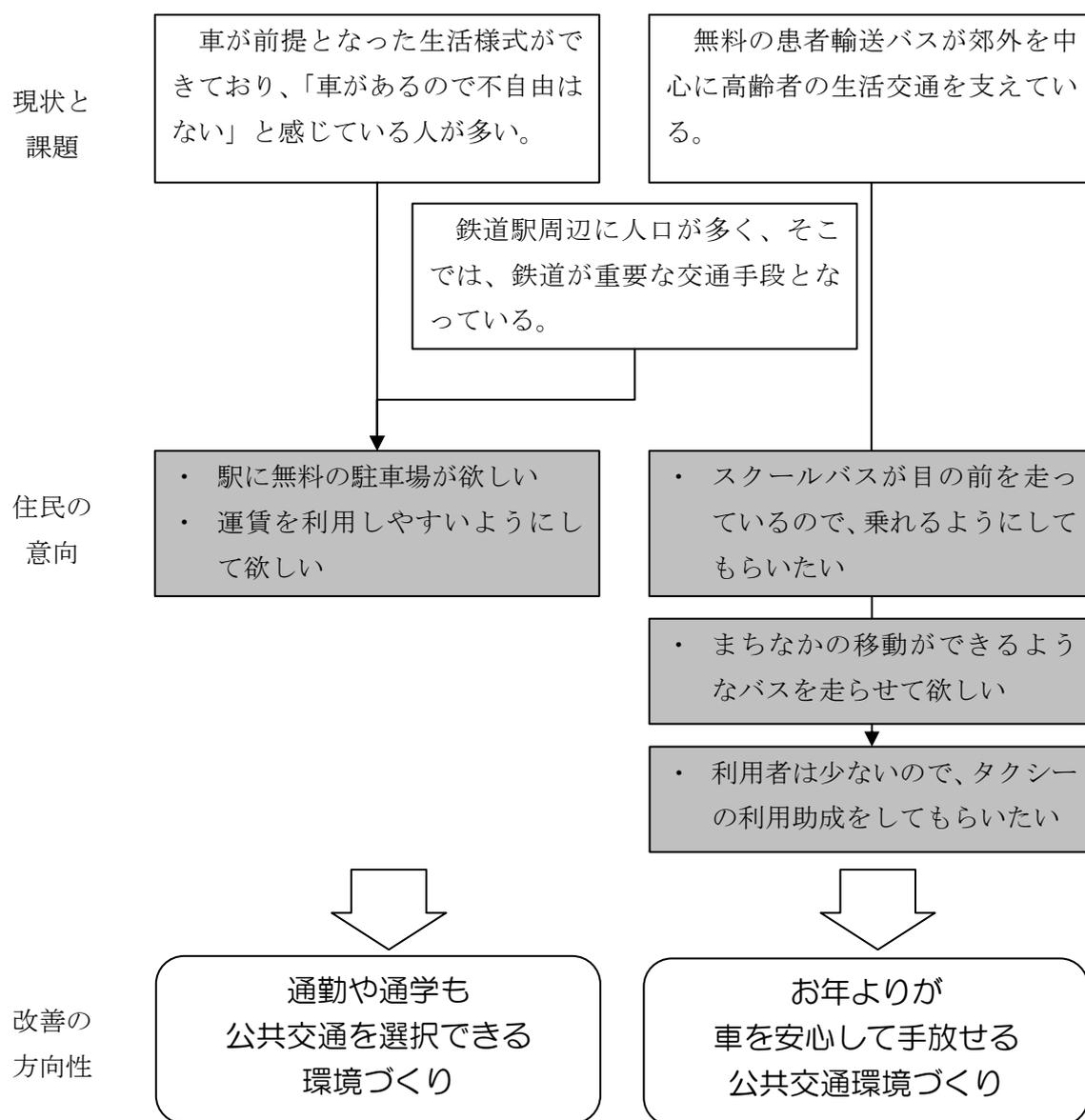
- ・ 行政も縦割りではなく、取り組んで欲しい。
- ・ 一番困っているのは駅の駐車場。バスや鉄道に乗り換え。
- ・ スクールバスであろうが、患者輸送バスであろうが、一般の人も乗せてほしい。
- ・ 小中学生では、近いところの子は乗せられないが、天気が悪いときや冬などは乗せるようにして欲しい。

■盛岡市

- ・ 平成 20 年 5 月に洪民～好摩間の玉山循環線を走らせた。結果は、1 便当たり 2 人強しか乗らなかった。そのあと、何をしたらよいか分からない。
- ・ 地域の方は何を思っているのか、特に高齢の方に対して調査を行った。患者輸送バスに乗り込み、調査を行った。地域の代表の方から、アドバイスもいただきたい。
- ・ 来年は、高校生や勤めている人に対しても意向を把握したい。
- ・ 15 日月曜日に議会説明を行うが、一昨日新聞に載った。1 ヶ月フリーバス券、5000 円を行う。玉山区はバスが少ない。IGR を 3 割引で利用できる券を 500 円で買う。70 歳以上の方が対象となる。
- ・ 来年度、バスの実験運行の予算は獲得している。実験のバスを走らせたい。
- ・ 公共交通問題はふたつあると考えている。松園のようなところは、車をやめてバスにして欲しい。バスがないようなところ、バスしかないというようなところでは、それをどう守るか。
- ・ 玉山線は、県のほうからやめられないかという話があった。市としては何とか守っていきたい。
- ・ 岩手町が患者輸送バス、定期バス、スクールバスをひっくるめて何かやりたいと考えているようだ。
- ・ 車を持たない人がどうやってやるかを、定期バスを使ってできないかと考えている。

8. まとめ ～現状の課題認識と改善の方向性の提案～

これまでの調査結果を踏まえ、玉山区の生活交通の現状や住民の意向を整理し、改善の方向性を以下のように提案する。



巻末資料1 住民アンケート調査結果（詳細）

1. 回答者の属性

(1) 地区

- 回答に占める構成比は、住民の多い好摩が29%、下田が17%、渋民が15%と、この3つの地区で全体の6割を占める。これらの地区は、IGRの駅が近い地区である。全体としてみたとき、これらの地域の意見が多いことは留意が必要となる。（この3地区を「駅周辺地区」、その他の地区を「郊外地区」に分類して分析を行う。）
- 地区別の回答率を見ると、藪川、巻堀は8割を越える高い割合となっている。

表 配布数および回答数

地区	配布数	回答数	構成比	回答率
松内	18	13	3%	72%
好摩	291	147	29%	51%
永井	29	12	2%	41%
寺林	18	11	2%	61%
巻堀	16	13	3%	81%
馬場	31	10	2%	32%
芋田	33	14	3%	42%
渋民	129	73	15%	57%
門前寺	19	12	2%	63%
下田	263	86	17%	33%
川崎	13	5	1%	38%
玉山	48	33	7%	69%
日戸	31	21	4%	68%
川又	35	15	3%	43%
上田	4	2	0%	50%
藪川	22	19	4%	86%
不明	—	17	3%	—
総計	1,000	503	100%	50%

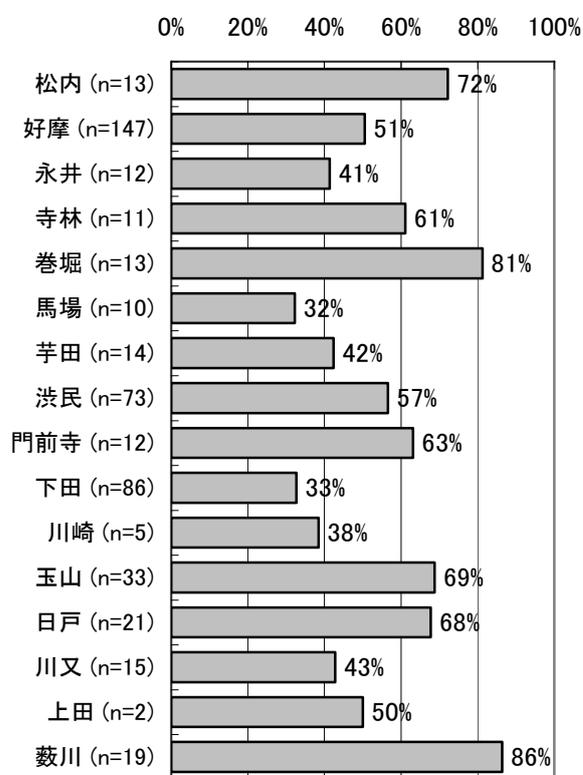


図 地区別の回答率

(2) 年齢

- ・ 年齢構成をみると、70歳以上が全体の26%を占めて、最も多い。60代、50代もそれぞれ20%程度を占めており、高齢ほど回答に占める割合が高くなっている。
- ・ 年代別に回答率を見ると、60代が63%と最も高くなっている。30代以下は平均の回答率より低いが、10代は40%と20代と比べると高くなっている。
- ・ 駅周辺と、郊外で分けると、郊外のほうが年齢は高く、50代以上が8割を占める。

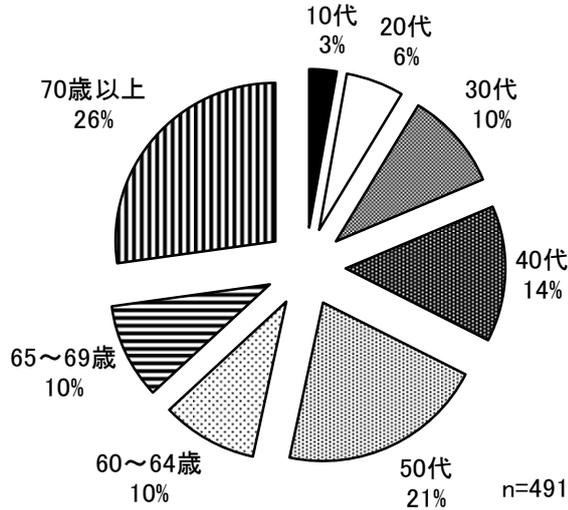


図 年齢構成

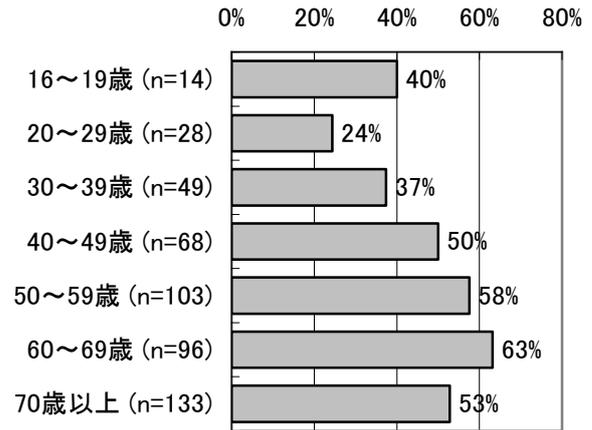


図 年齢別回収率

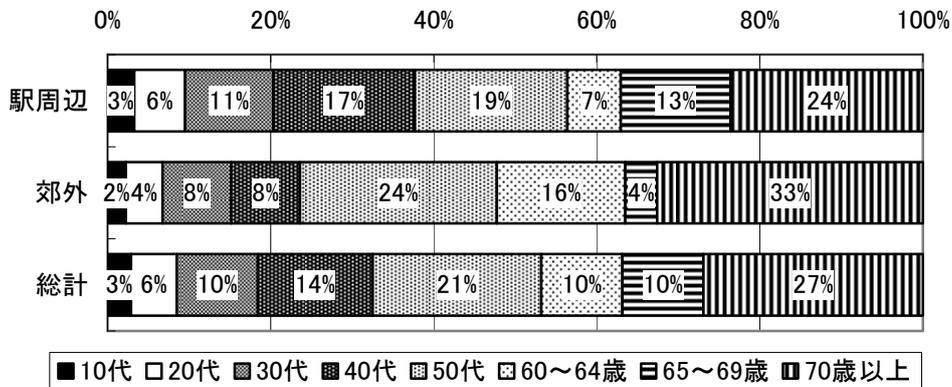


図 地区特性別の年齢構成

(3) 性別

- ・ 男女別にみると、女性の回答数が全体の6割を占める。
- ・ 回答率でも、女性の回答率が5割を超える。ただ、男性についても42%と、低い値ではない。

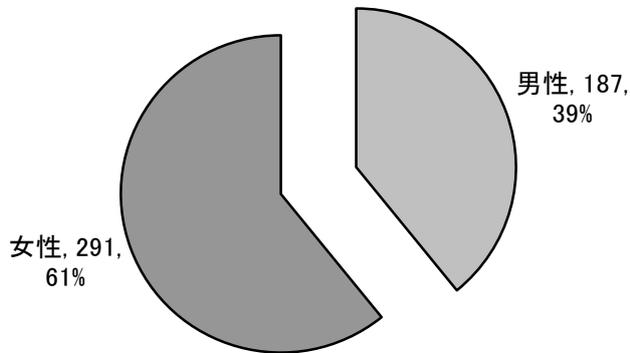


図 構成率

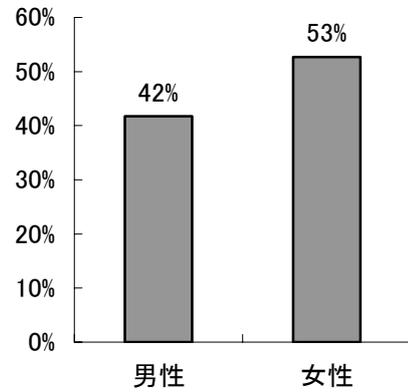


図 年齢別回収率

(4) 職業

- ・ 職業としては、「無職」が3割を占めて最も多い。
- ・ 次いで、「勤め人」が27%に対して、「農林業」と「自営業」を足して19%と、勤め人のほうが多い。

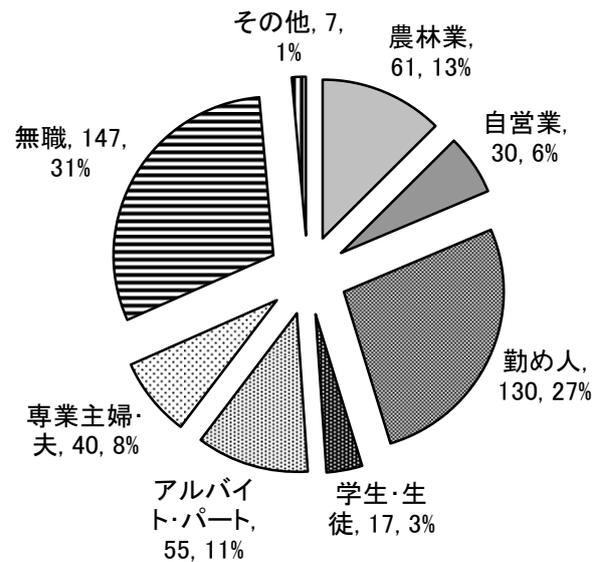


図 職業の構成比

(5) 同居人数

- 全体では、本人を含めて「5人」が最も多く3割を占める。
- ただし、「1人」暮らし、「2人」を合わせると28%を占め、核家族化も進んでいる。

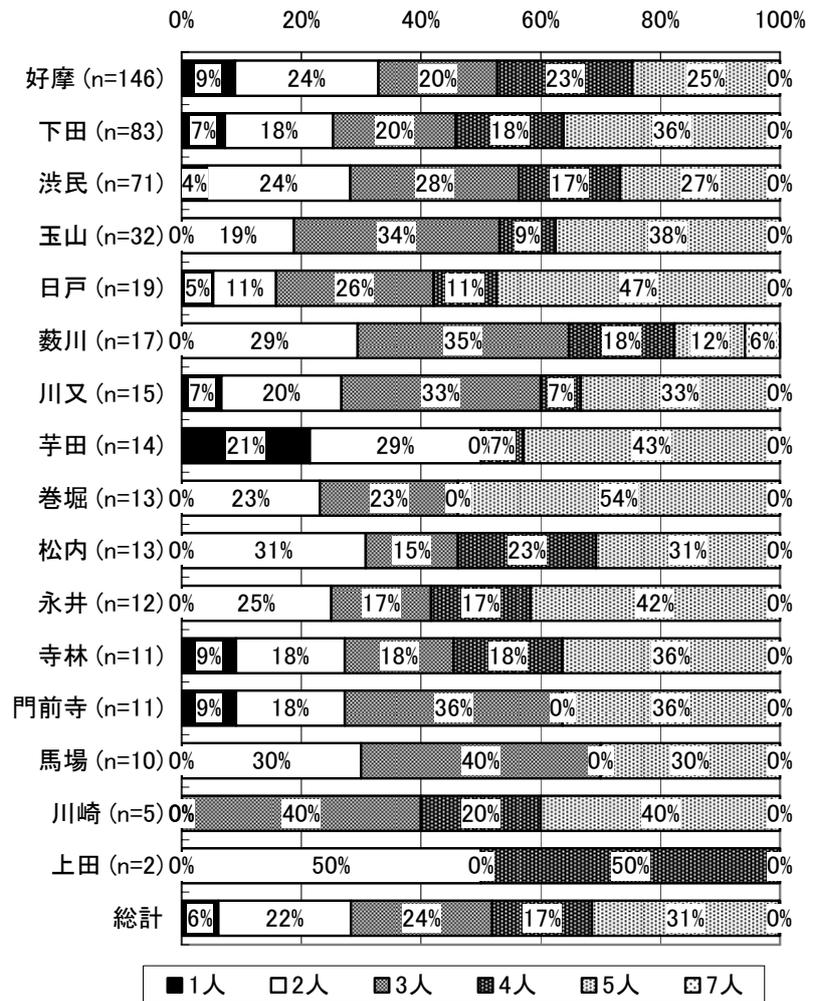


図 同居人数の地区別割合 (回答票数順に並べる)

(6) 世帯特性 (高齢者の視点から)

- ・ 高齢者世帯かどうかについてみると、全体では、56%が「高齢者のいない世帯」である。
- ・ 特に、好摩や渋民など駅が近い地区や、寺林では全体の7割を占める。
- ・ 反対に高齢者のみの世帯は、全体の6%を占める。
- ・ 松内、藪川、馬場では、10%を超える。

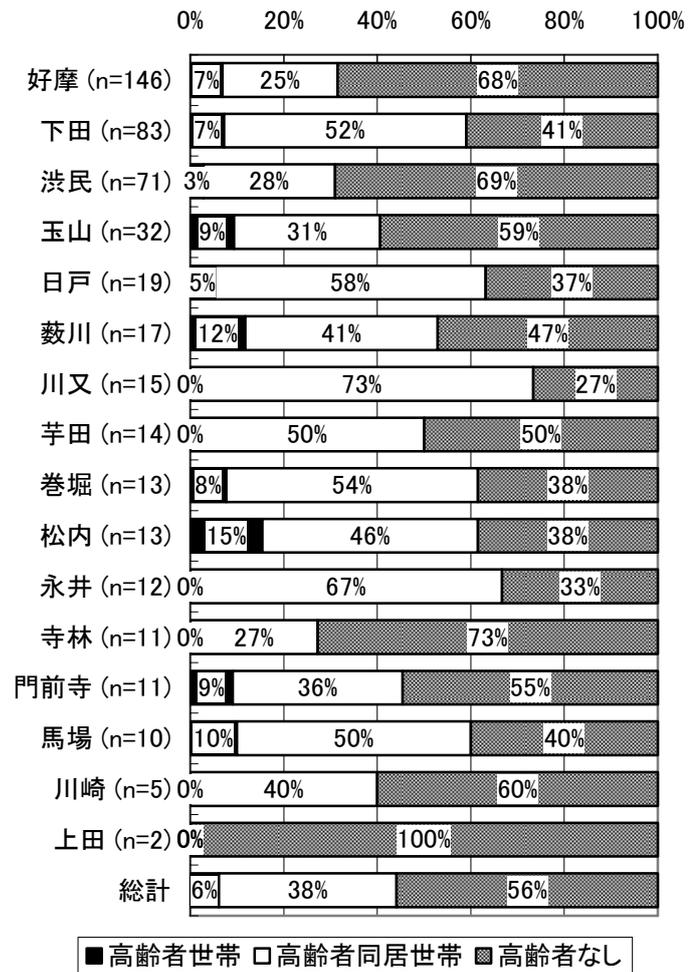


図 世帯特性構成比 (回答票数順に並べる)

(7) 自動車の運転免許

- ・ 自動車運転免許の保有率は、男女で比率が変わる。
- ・ 20～50代までは、どちらも8割以上が免許を保有しているが、女性の60～64歳の保有率は55%にまで下がる。それに対して、男性は、60代まではほぼ免許を持っており、70代以上も半数が免許を保有している。

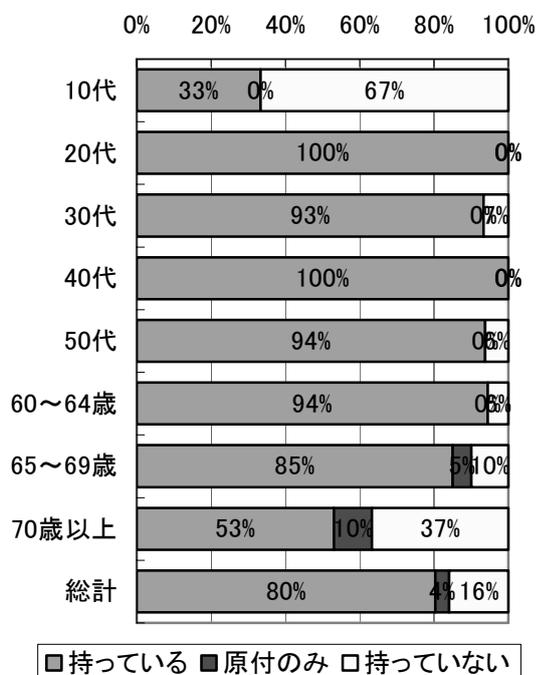


図 男性の免許保有率

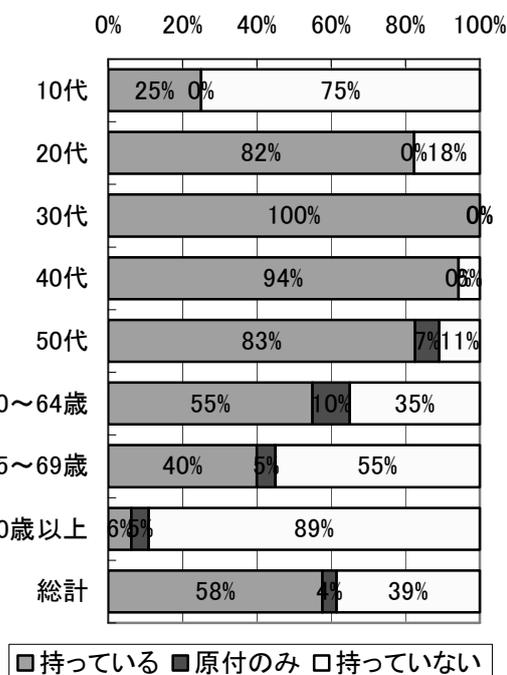


図 女性の免許保有率

(8) 車の保有状況

- ・ 自家用車が世帯にあるかどうかについては、全体では9割が「ある」と回答している。
- ・ しかし、高齢者世帯では32%が「ない」状況となっており、公共交通を必要としている状況がうかがえる。
- ・ 一方で、高齢者がいない世帯でも12%が「ない」と回答している。

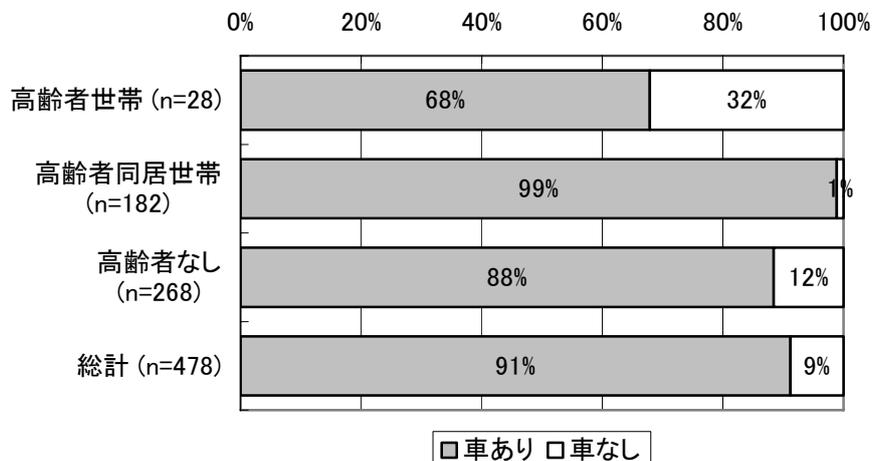


図 車の保有率

(9) 外出回数

- ・ 1日平均の外出回数は、全体では、1回が46%、2回以上が45%である。
- ・ 年代別では、60代前半と70歳以上では2割前後が一度も外出していない状況となっている。
- ・ 70歳以上の地区別の平均回数をみると、郊外のほうが、駅周辺と比べて外出回数は少なく、27%が「0回」となっている。

* 一度家に帰ったら1回とする。2日分の平均値

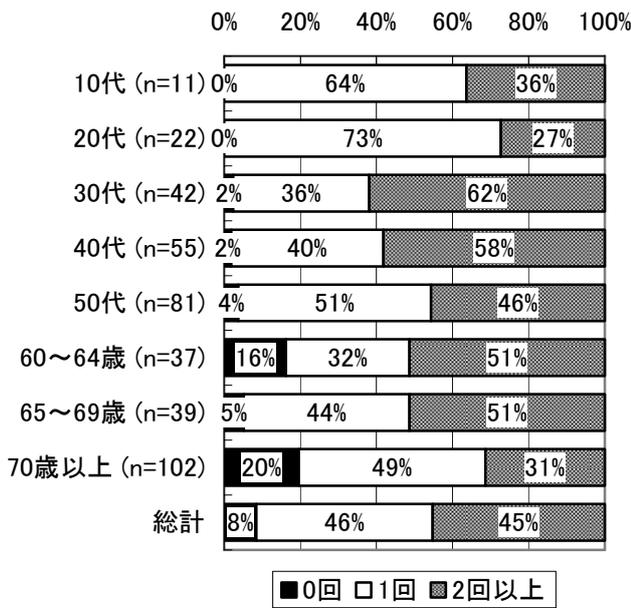


図 2日間の平均外出回数

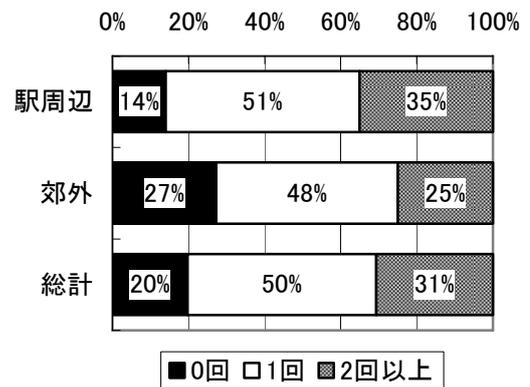


図 地域別の外出回数 (70歳以上)

* 駅周辺は好摩、渋民、下田地区を含む。

2. 通勤・通学の状況

(1) 通勤や通学の有無

- ・ 通勤をしている割合は全体では、42%、していない人は54%を占める。
- ・ 駅周辺と、郊外で、割合は大きく変わらない。

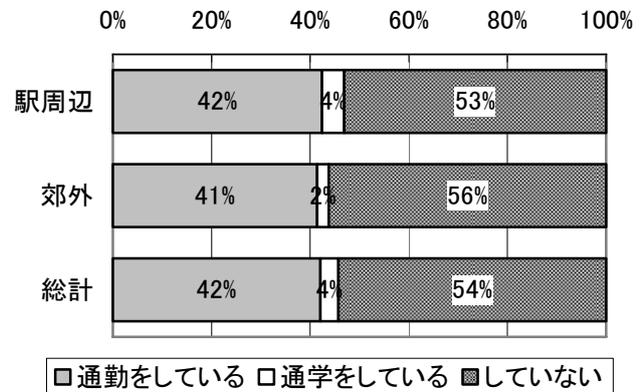


図 通勤通学の有無（地区別）

(2) 通勤・通学駅

- ・ 通勤や通学先の最寄り駅は、「渋民駅」「好摩駅」が多く、玉山区内に通勤している人が多い。
- ・ 通学については、「盛岡駅」や「滝沢駅」が多い。

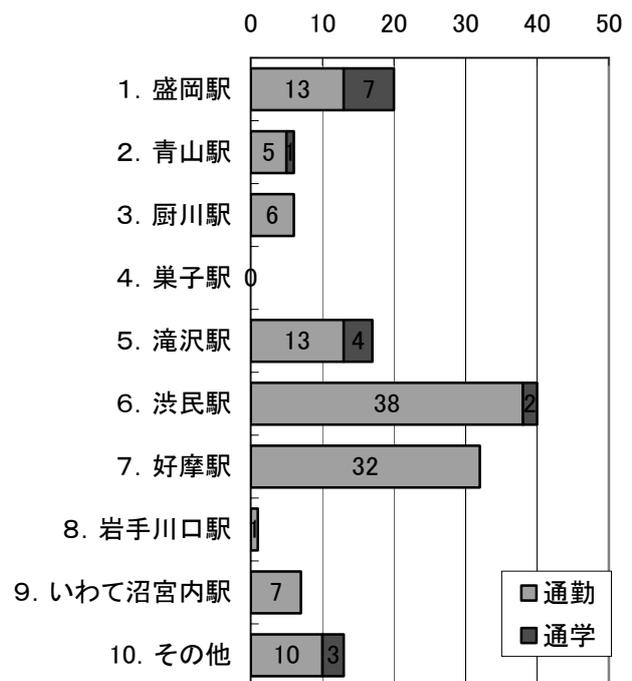


図 通勤や通学先の最寄り駅

(3) 通勤・通学方法

- ・ 全体では、70%が「車（運転）」、13%が「鉄道」、4%が「路線バス」であり、公共交通の分担率はあわせて17%となっている。
- ・ 地区別に見ると、好摩や芋田では特に鉄道の利用が高いのに対して、下田や渋民ではやや自動車の利用が多い。

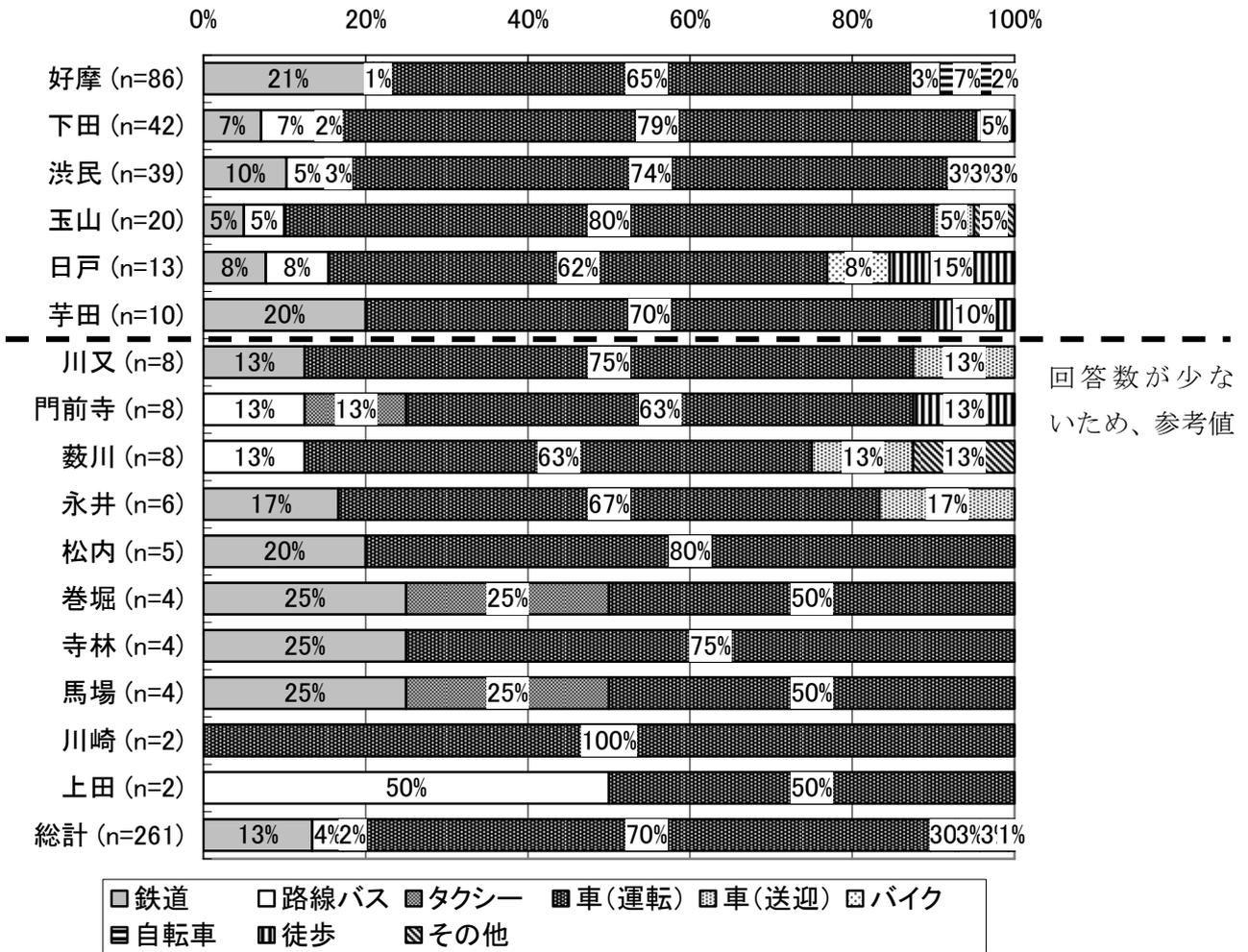


図 通勤や通学の方法

(4) 自宅から鉄道駅やバス停までの移動方法

- ・ 「徒歩」や「自転車」が45%を占める。特に、好摩地区で多い。
- ・ 「車」も38%を占める。
- ・ 「路線バス」でアクセスしている人は渋民と玉山、芋田となっている。

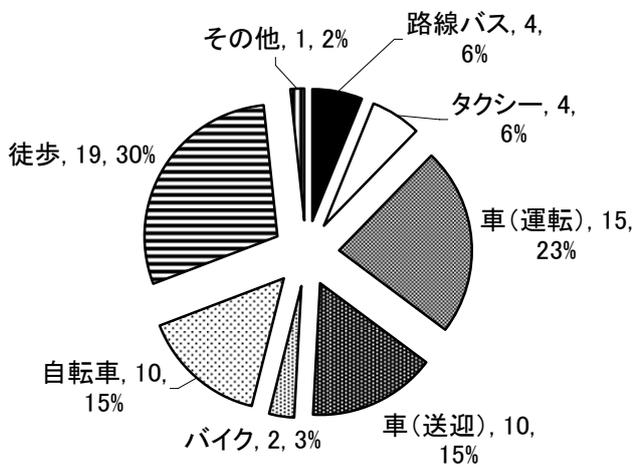


図 鉄道駅やバス停までの行き方



図 地区別の行き方 (人数)

3. 通院の状況

(1) 定期的な通院の有無

- ・ 「定期的に通院している」割合は、全体では、52%であるが、高齢者ほど割合は高い。
- ・ 60歳以上は60%を超える。
- ・ 70歳以上では、大半の人が定期的な通院を行っている。

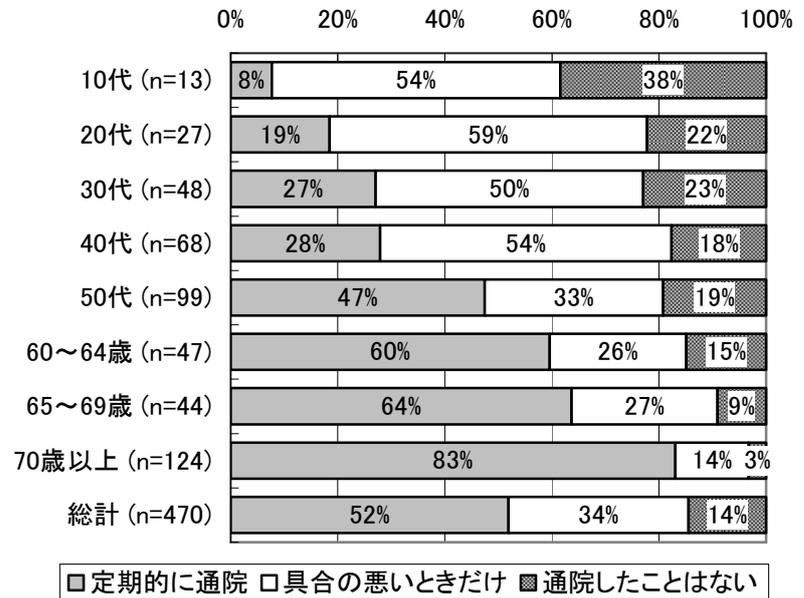


図 定期的な通院をしているか

(2) 通院先

- ・ 通院先を、玉山区内、盛岡方面、その他市町村に分けて、病院名を記入してもらった。その結果、定期的に通院している人のうち、「玉山区と盛岡（の病院）に行く」が39%、「玉山区のみ（の病院に行く）」が35%と、この2つが主な行き先である。

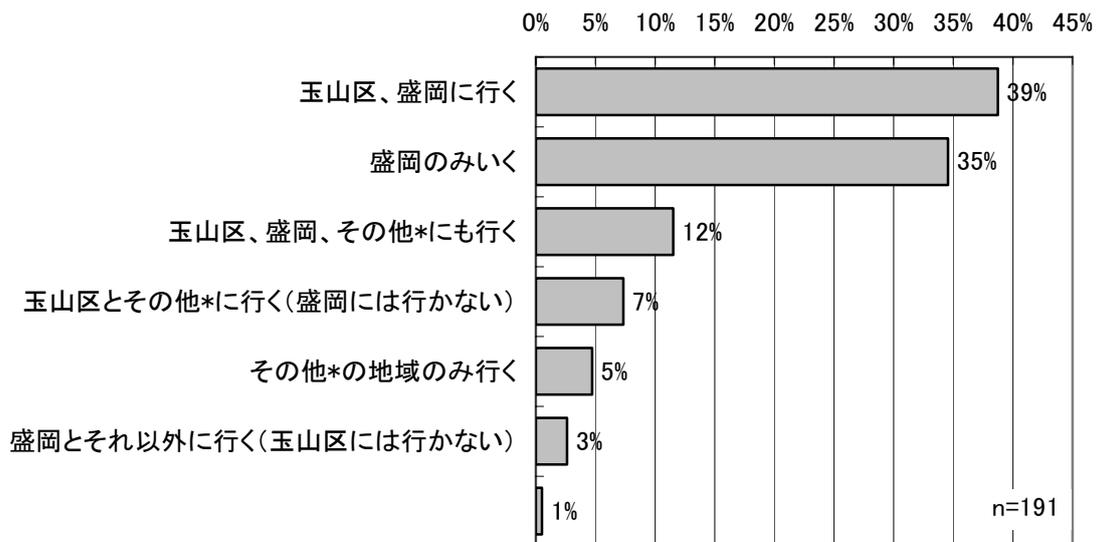


図 通院方面

* 「その他の地域」とは、滝沢村、岩手町、八幡平市、雫石町などが多い。

表 病院名

玉山区内の病院名	回答数	比率
八角病院	106	35%
秋浜内科クリニック	97	32%
八角医院	90	30%
成島整形外科	28	9%
洪民歯科クリニック	23	8%
洪民中央病院	9	3%
まつしま歯科	7	2%
吉田歯科医院	7	2%
成島整形外科医院	4	1%
玉山岡本病院	2	1%
小笠原整骨院	2	1%

*回答数が2以上を記載

盛岡市内の病院名	回答数	比率
県立中央病院	74	26%
岩手医科大	42	15%
赤坂病院	16	6%
松田眼科クリニック	13	5%
あべ整形外科	7	2%
栃内病院	7	2%
盛岡市立病院	7	2%
佐々木皮膚科	6	2%
志和眼科	6	2%
小笠原眼科クリニック	6	2%
千葉耳鼻科	6	2%
近藤眼科	5	2%
栗原甲状腺クリニック	5	2%
川村皮膚科クリニック	5	2%
さとう皮膚科クリニック	4	1%
なるみ脳神経クリニック	4	1%
臼井医院	4	1%
加藤アイクリニック	4	1%
小田島耳鼻咽喉科	4	1%
谷藤眼科	4	1%
都南病院	4	1%

*回答数が4以上を記載

その他の病院名	回答数	回答率
あべ整形外科(滝沢村)	13	22%
小豆嶋眼科(岩手町)	8	14%
金井耳鼻科(滝沢村)	5	8%
沼宮内塚谷医院(岩手町)	5	8%
あすみのクリニック(滝沢村)	3	5%
黒子高橋内科胃腸科クリニック(滝沢村)	3	5%
北上脳神経外科クリニック(北上市)	3	5%
サマリヤ眼科クリニック(滝沢村)	2	3%
高橋医院(滝沢村)	2	3%

*回答数が2以上を記載

(3) 通院方法

- ・ 玉山区内の病院には、患者輸送バスが7%に対して、路線バスはほとんど利用がない。
- ・ 盛岡方面へ行く手段としては、鉄道が19%を占めて多い。バスの利用も10%ある。

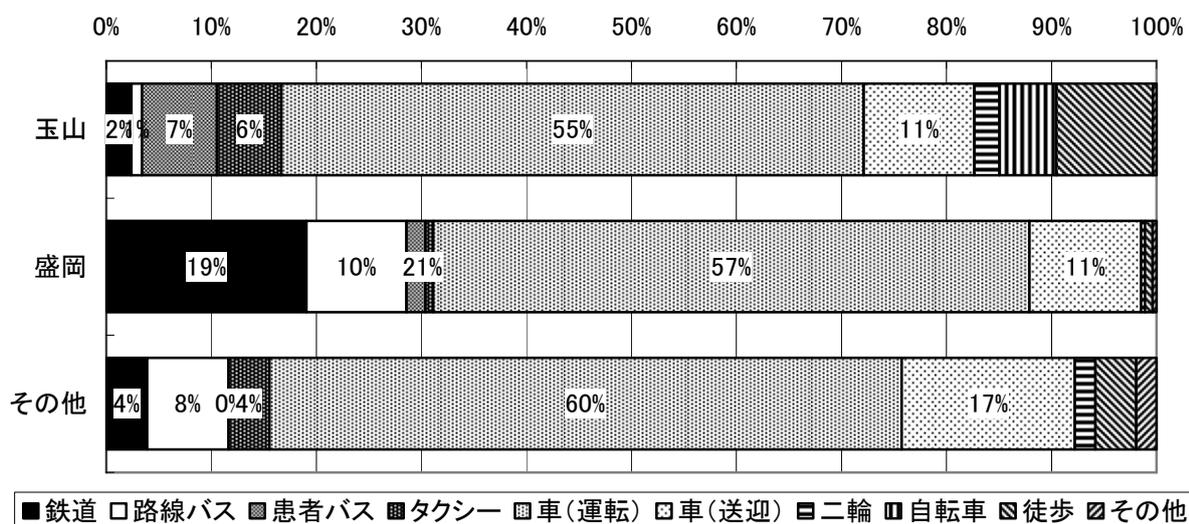


図 行き先別の通院方法

4. 買い物

(1) 買い物の状況

- 買い物をどのように行っているかについては、10代は「仕事や学校帰り」「ほとんど行かない」がそれぞれ4割を占める。
- 高齢になるほど「足りなくなったとき（に行く）」や「ほとんど行かない」の割合が増える。

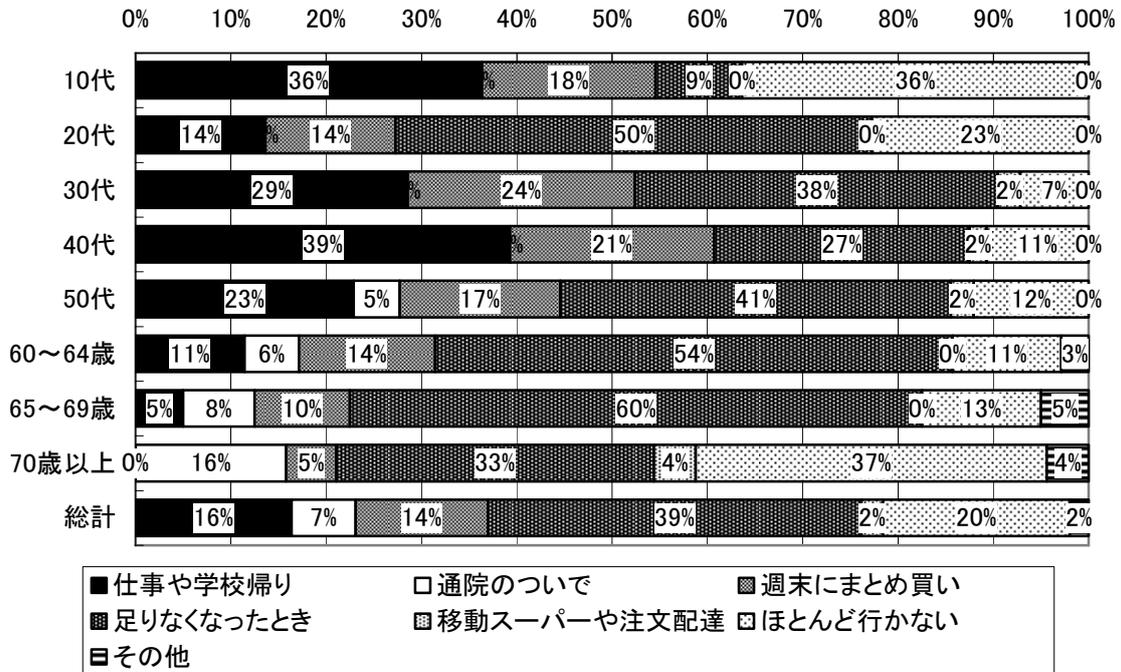


図 買い物の状況

(2) 買い物に行くときの移動方法

- 買い物はほとんど「車（運転）」で行われている。

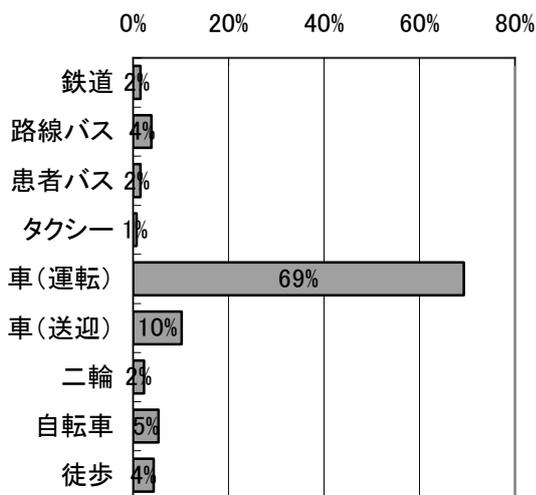


図 買い物の移動手段 (n=394)

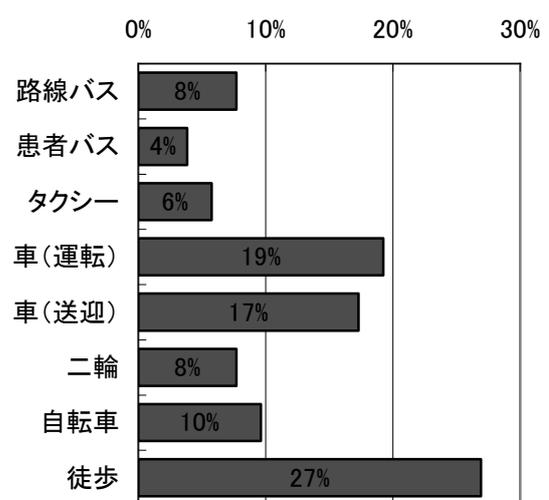


図 鉄道駅やバス停まで (n=52)

5. 公共交通の利用度

- ・ 公共交通の利用頻度は、全体では鉄道の利用頻度が最も高く 3 割が利用している状況となっている。
- ・ 特に 10 代は、大半が利用している状況となっている。
- ・ バスについても、10 代の利用頻度がもっとも高く、「週に 5 日以上」は 23% を占める。

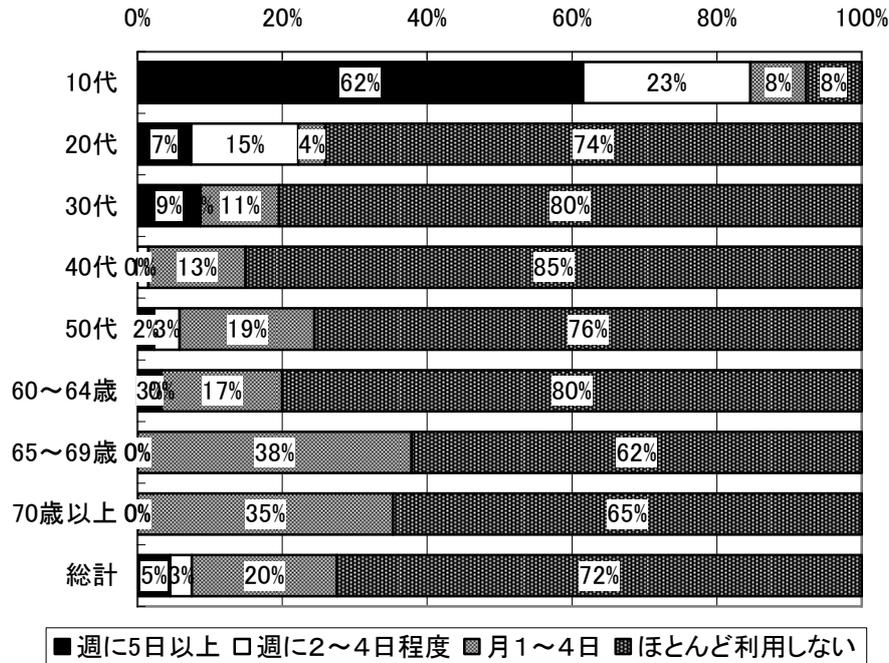


図 鉄道の利用頻度

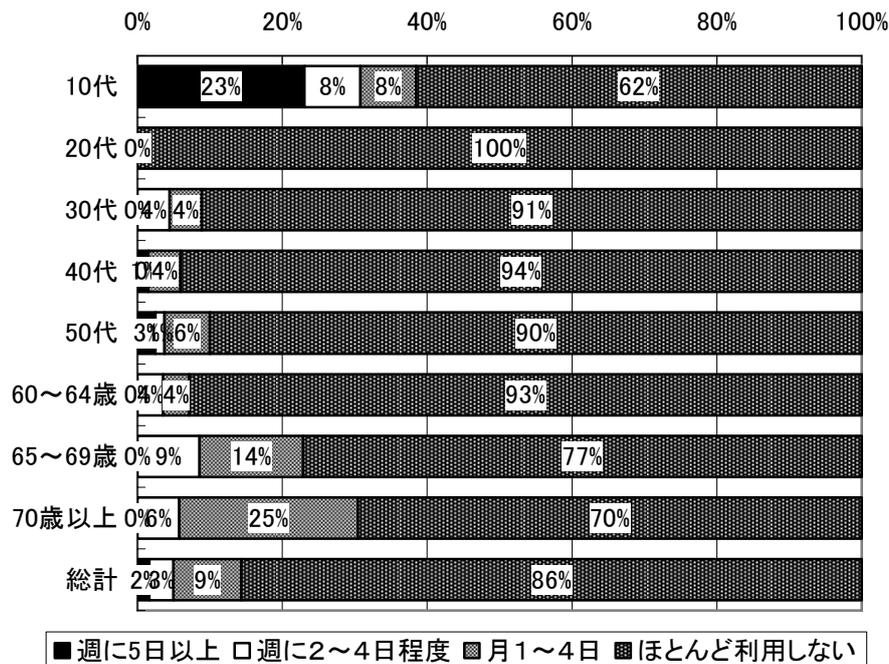
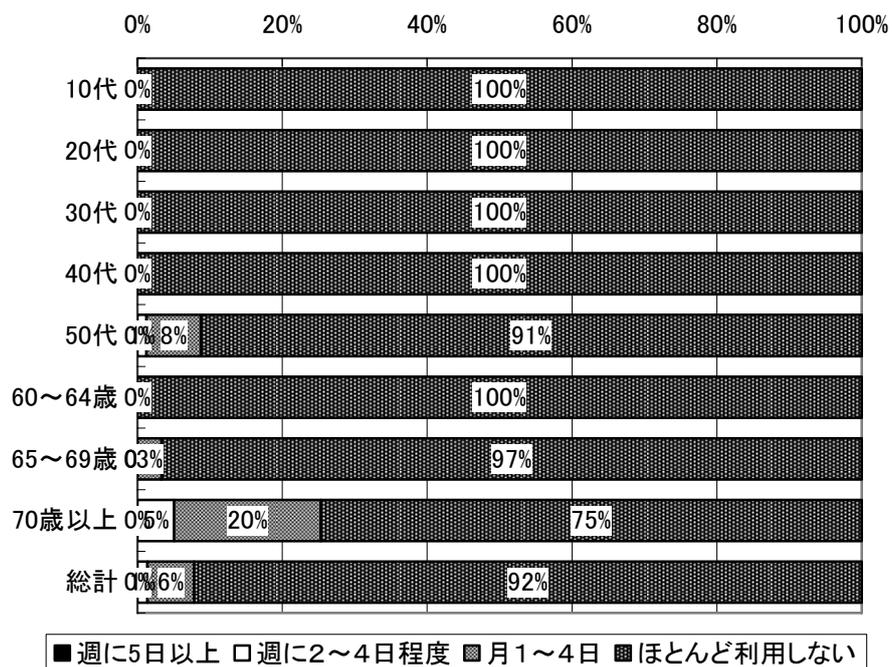


図 路線バスの利用頻度



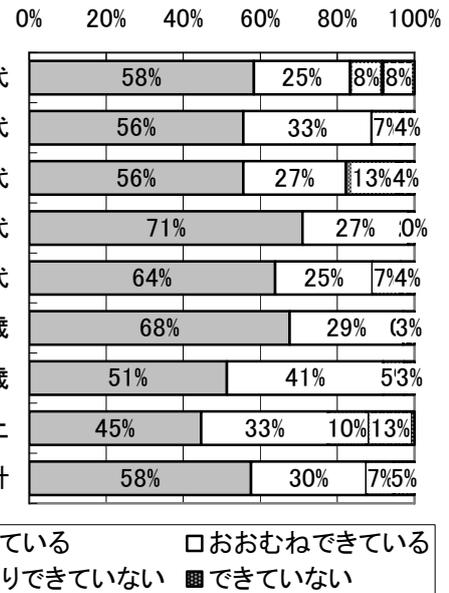
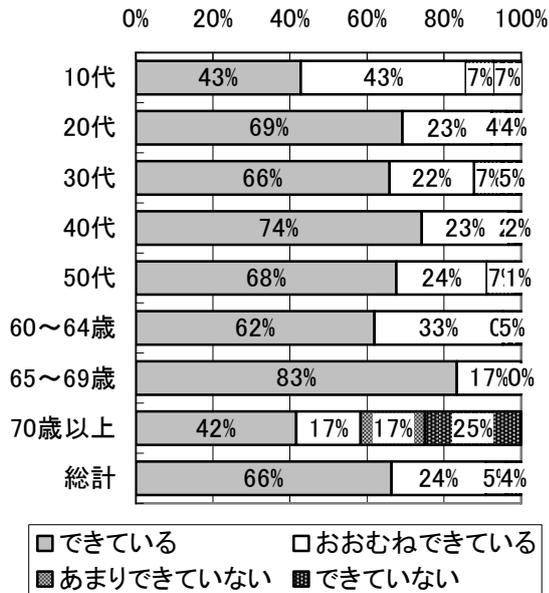
図患者輸送バスの利用頻度

6. 移動の満足度

- 「便利に移動ができているかどうか」について、外出目的別に聞いた結果、どの目的も70代以上を除いて「できている」が過半数を占め、「おおむねできている」を加えると大半の人が満足している状況となっている。
- 70歳以上は「できている」が半数を下回る。特に通院は、「おおむねできている」を加えても6割程度であり、4割が不便を感じている状況となっている。

通勤や通学

通院



買い物

用事

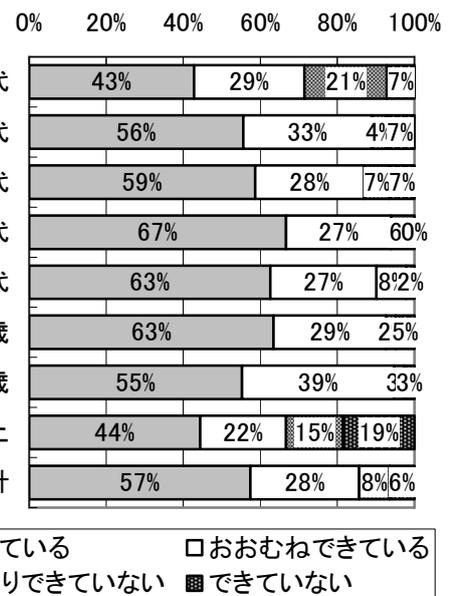
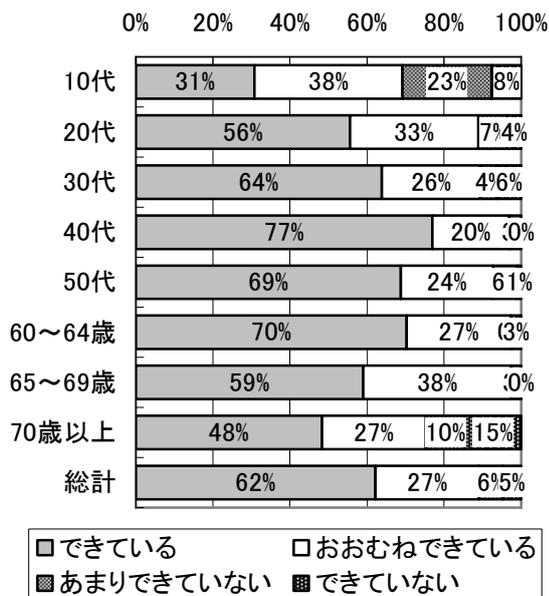
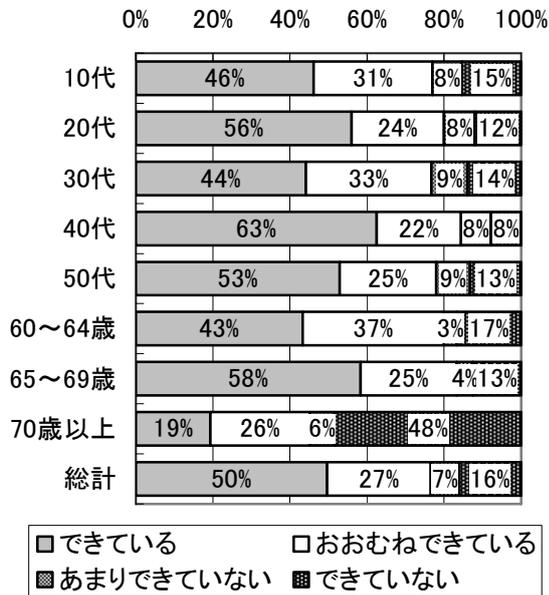


図 移動の満足度

趣味



7. 外出環境の不便さ、便利さ

(便利に移動できている理由)

- 便利に移動ができている理由の大半は車があることだが、10代では「鉄道駅が近い」「路線バスの停留所が近い」、高年齢層では加えて「患者輸送バスが近い」という理由も多い。

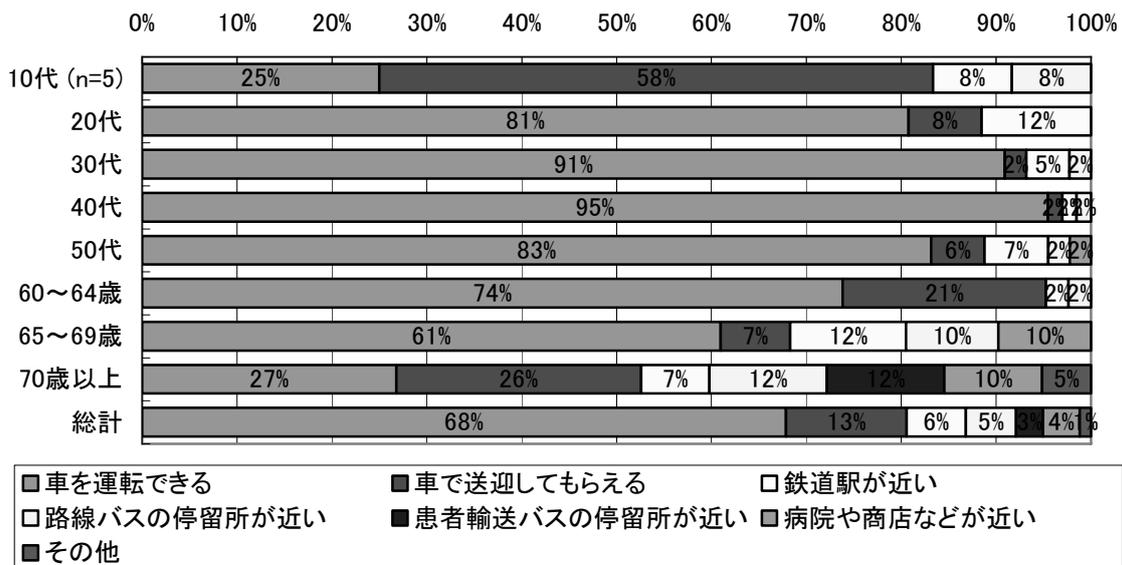


図 「便利に移動ができている」理由

(便利に移動できていない理由)

- ・ 「便利に移動できていない理由」のうち、「移動手段がない」と回答する割合は10代が60%と多い。60代以上は3割を占める。
- ・ 満足度が低い70代以上では「体力的につらい」という理由も33%（3人に1人）が挙げて高い要因となっている。

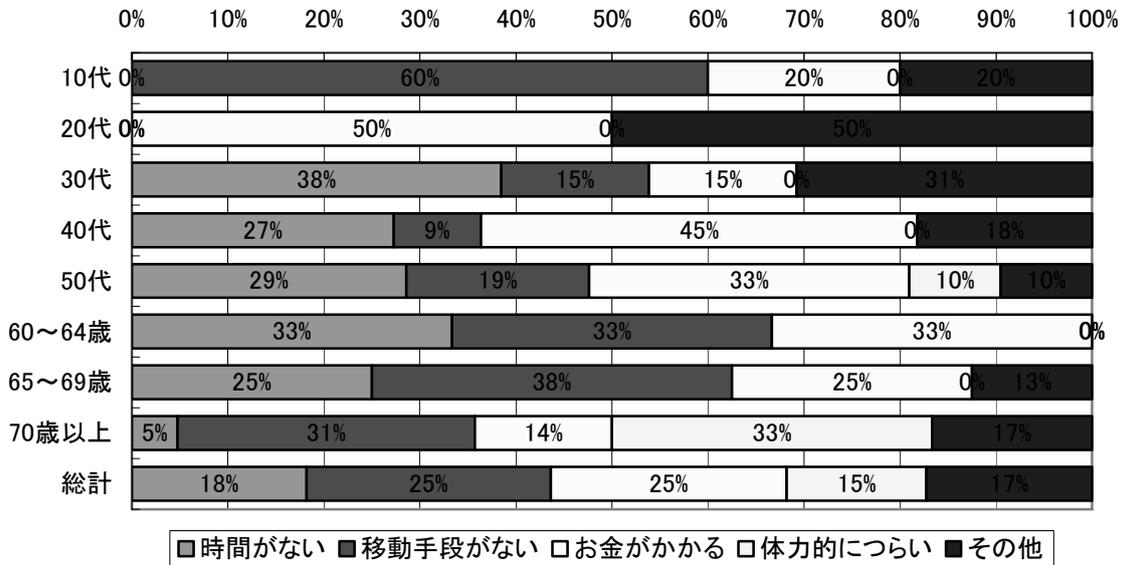


図 「便利に移動できていない」理由

8. 日常の外出状況で困っていることや不安なこと

- ・ 困っていることとしては、回答者の45%が将来的な不安を感じている。
- ・ また「病院や商店が遠く不便」も25%を占める。

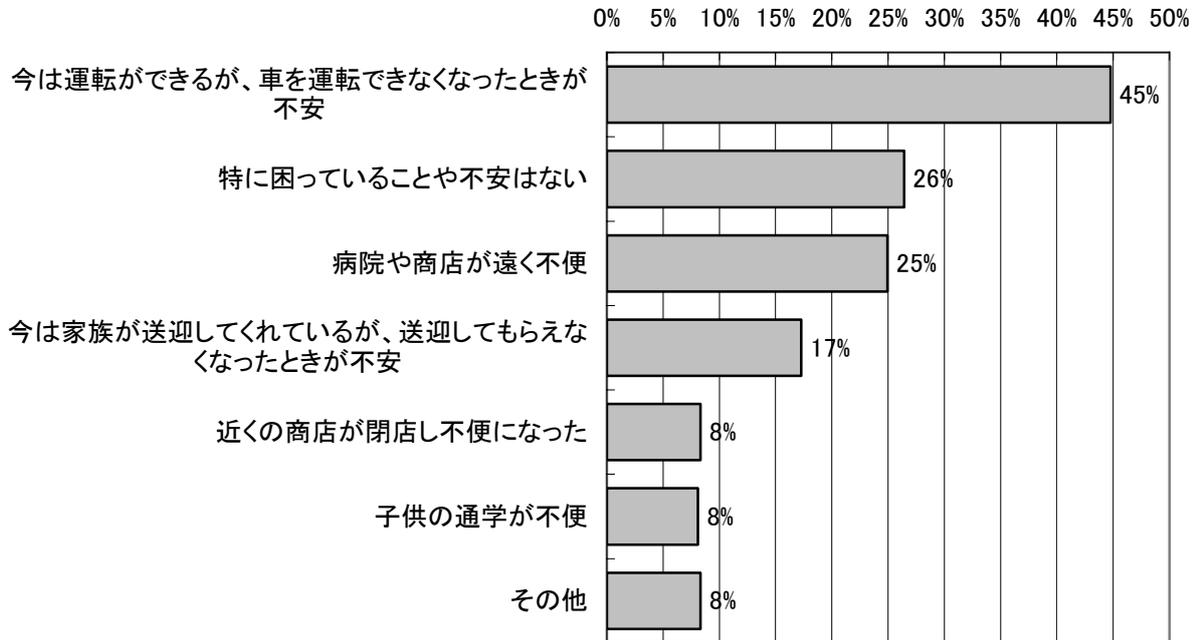
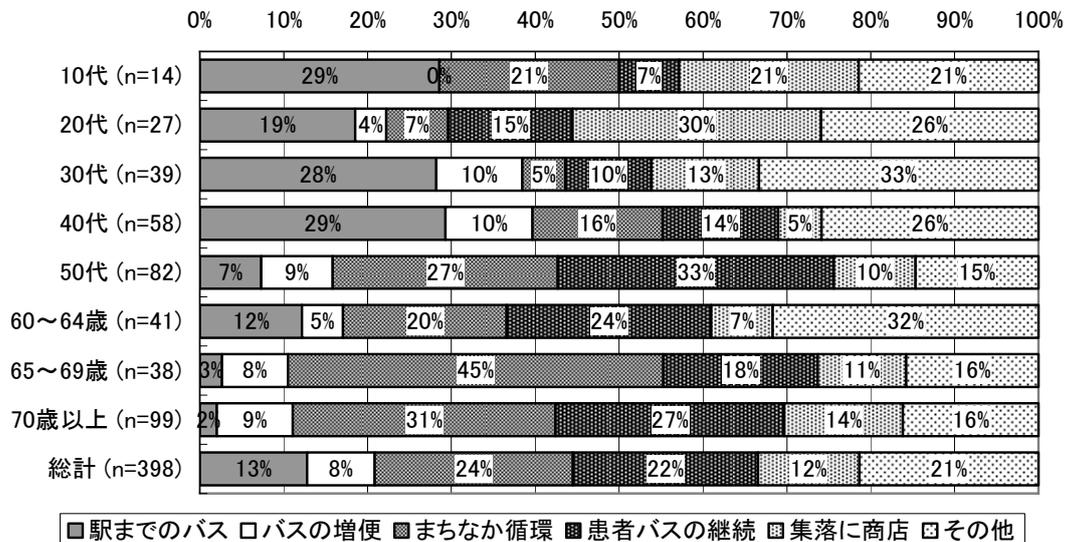


図 外出状況で困っていることや不安なこと (n=469)

9. 日常の外出状況で改善してもらいたいこと

- ・ 改善を期待することとしては、全体では「玉山区内のまちなかを循環するようなバスを走らせて欲しい」が24%、「患者輸送バスを続けて欲しい」が22%と多い。
- ・ まちなか循環は高齢層ほど高い傾向となっており、「患者バスの継続」よりやや多い値となっている。10代や20代は「集落に商店ができたらいいい」も比較的多い。



■ 駅までのバス □ バスの増便 ■ まちなか循環 ■ 患者バスの継続 ■ 集落に商店 □ その他

図 改善を期待すること

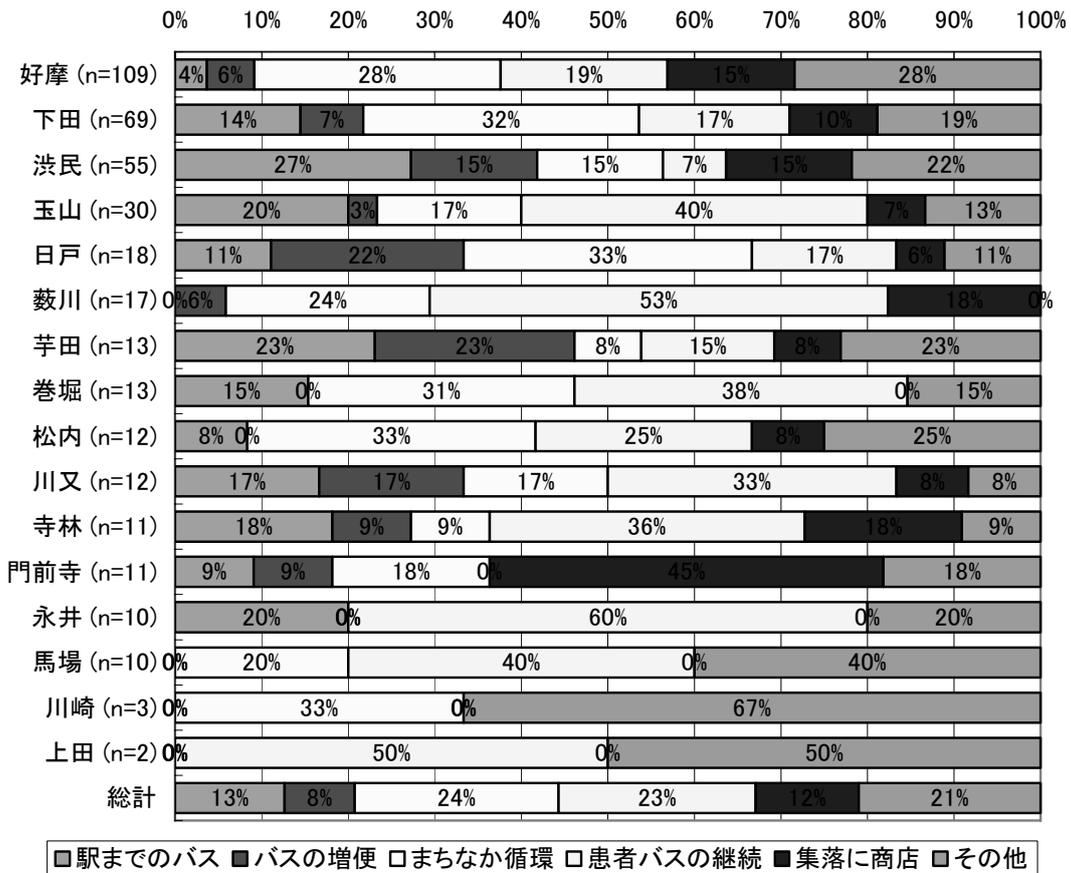


図 改善を期待すること

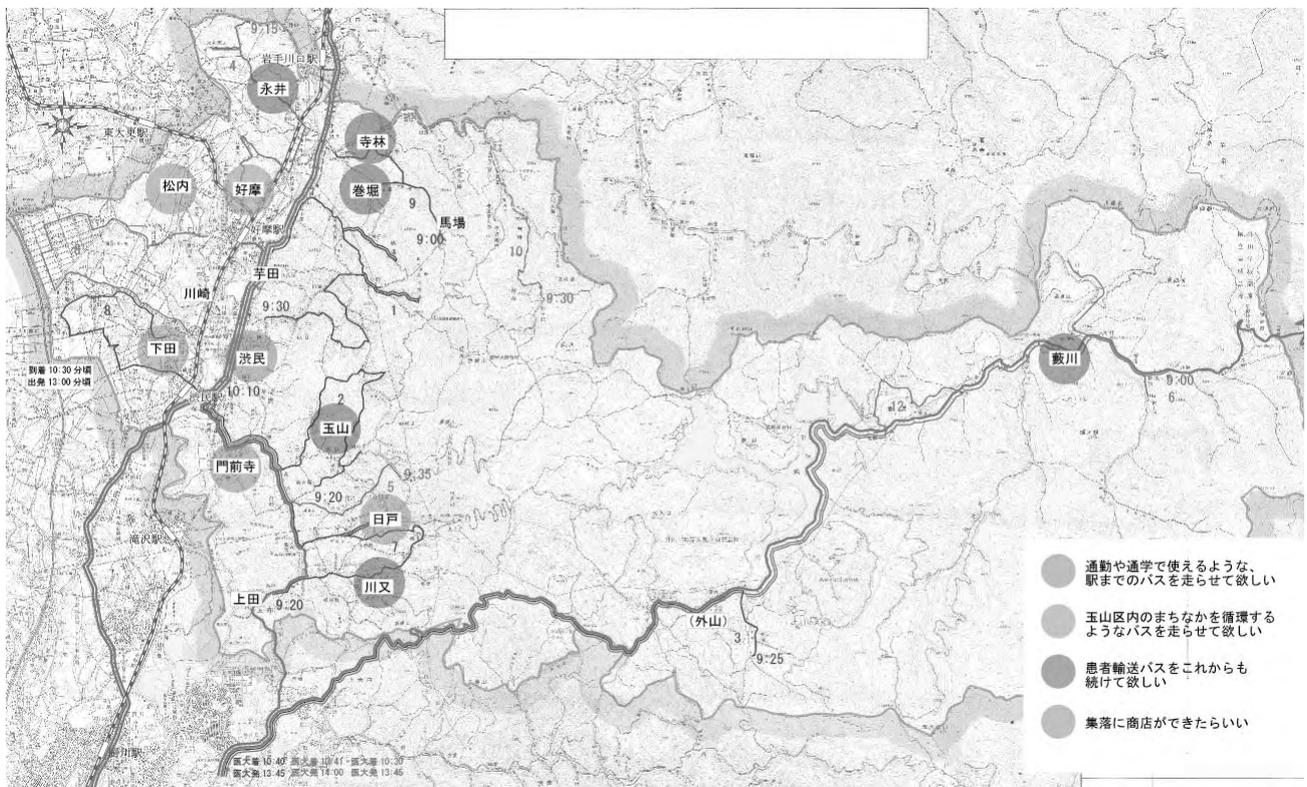


図 改善を期待すること（第一位で色分け）

盛岡市玉山区の
日常の外出状況に関する
アンケート調査にご協力ください



「日常の外出状況に関するアンケート」へのご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政運営に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。ご協力をお願いします。

盛岡市は、市民の皆様のご生活に必要とされる公共交通のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的に、普段の公共交通の利用実態についてお答えいただく「日常の外出状況に関するアンケート」を実施することになりました。

このアンケートは、玉山区にお住まいの16歳以上の方から無作為に抽出した1,000人の方に回答をお願いしています。

なお、この調査票は無記名でご回答いただき、お答えいただいた内容はすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用しませんので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙のところ誠に恐れいますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成21年12月

盛岡市長 谷藤 裕明

【ご記入にあたって】

1. 同封した調査票等は次のとおりです。①調査票 ②返信用封筒
2. **12月13日(日)までに**、返信用封筒に入れて、ポストに投函してください(切手不要)。
3. 本アンケートについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

(調査実施機関・調査に関するお問い合わせ)

盛岡市建設部交通政策課 担当：交通対策係

〒020-8530 盛岡市内丸12-2 TEL：019-651-4111 (内線2762・2763)

(午前8時30分～午後5時30分 土日祝日を除く)

日常の外出状況に関するアンケート 盛岡市玉山区

こちらの調査票に直接ご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください

1. 通勤・通学の状況について

質問1 現在、あなたは、通勤や通学をしていますか？（ひとつ選択）

- 1. 通勤をしている →質問2へ
- 2. 通学をしている →質問2へ
- 3. 通勤も通学もしていない →質問5へ

質問2 通勤地や通学地に最も近い駅はどちらですか？（ひとつ選択）

- 1. 盛岡駅 2. 青山駅 3. 厨川駅 4. 巢子駅 5. 滝沢駅 6. 渋民駅
- 7. 好摩駅 8. 岩手川口駅 9. いわて沼宮内駅 10. その他（ ）

質問3 通勤や通学で利用する主な交通手段をひとつだけ選んでください。

- 1. 鉄道 2. 路線バス 3. タクシー 4. 車（自分で運転） 5. 車（送迎）
- 6. 自動二輪・原付バイク 7. 自転車 8. 徒歩 9. その他（ ）

質問4 質問3で「1. 鉄道」や「2. 路線バス」を選んだ方（→3~9を選んだ方は、質問5へ）にお聞きします。自宅から最寄の駅やバス停まではどのような方法で行きますか？主な交通手段をひとつだけ選んでください。

- 1. 路線バス 2. タクシー 3. 車（自分で運転） 4. 車（送迎）
- 5. 自動二輪・原付バイク 6. 自転車 7. 徒歩 8. その他（ ）

2. 通院の状況について

質問5 現在、あなたは、通院をしていますか？（ひとつ選択）

- 1. 定期的に通院している →質問6へ
- 2. 具合の悪いときだけ通院している →質問6へ
- 3. 通院したことがない →質問9へ

質問6 通院先はどこですか？玉山区内、盛岡方面、その他に分けて、病院名を記入してください（主なものを3つまで）

玉山区内			
盛岡方面			
その他			

質問7 通院で最もよく利用する交通手段を選んでください。玉山区内、盛岡方面、その他の場合とそれぞれご記入ください（主なものをひとつ選択）

玉山区内	1. 鉄道 2. 路線バス 3. 患者輸送バス 4. タクシー 5. 車（運転） 6. 車（送迎） 7. 自動二輪・原付バイク 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他（ ）
盛岡方面	1. 鉄道 2. 路線バス 3. 患者輸送バス 4. タクシー 5. 車（運転） 6. 車（送迎） 7. 自動二輪・原付バイク 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他（ ）
その他	1. 鉄道 2. 路線バス 3. 患者輸送バス 4. タクシー 5. 車（運転） 6. 車（送迎） 7. 自動二輪・原付バイク 8. 自転車 9. 徒歩 10. その他（ ）

質問8 質問7で「1. 鉄道」や「2. 路線バス」を選んだ方（→3~10を選んだ方は、質問9へ）にお聞きします。駅やバス停まではどのような方法で行きますか？最もよく利用する交通手段を選んでください。（ひとつ選択）

1. 路線バス 2. 患者輸送バス 3. タクシー 4. 車（自分で運転）
5. 車（送迎） 6. 自動二輪・原付バイク 7. 自転車 8. 徒歩
9. その他（ ）

3. 買い物の状況について

質問9 あなたは食料品や日用品などの買い物はどうしていますか？（主なものをひとつ選択）

1. 仕事や学校帰りに買い物をする →質問10へ
2. 通院のついでに買い物をする →質問10へ
3. 週末にまとめて買い物をする →質問10へ
4. 足りなくなったときに買い物をする →質問10へ
5. 移動スーパーや注文配達などを利用する →質問13へ
6. ほとんど買いに行かない（家族が行く） →質問13へ
7. その他（ ） →質問13へ

質問10 （買い物に行く方にお聞きします）主にどこで買い物をしますか？玉山区内と盛岡方面、その他に分けて、店名又は地名をご記入ください（主なものを3つまで）

玉山区内			
盛岡方面			
その他			

質問 14 あなたは、ご自分が外出する時、便利に移動ができていると思いますか？目的別に当てはまるものをそれぞれ選んでください。

通勤や通学	1. できている	2. おおむねできている	3. あまりできていない	4. できていない
通院	1. できている	2. おおむねできている	3. あまりできていない	4. できていない
買い物	1. できている	2. おおむねできている	3. あまりできていない	4. できていない
用事	1. できている	2. おおむねできている	3. あまりできていない	4. できていない
趣味や習い事	1. できている	2. おおむねできている	3. あまりできていない	4. できていない

いずれかで「1. できている」「2. おおむねできている」を選んだ方にお聞きします。その理由として当てはまるものを <u>ひとつだけ</u> 選んでください。	いずれかで「3. できていない」「4. あまりできていない」を選んだ方にお聞きします。その理由として当てはまるものを <u>ひとつだけ</u> 選んでください。
<ul style="list-style-type: none"> 1. 車を運転できる 2. 車で送迎してもらえる 3. 鉄道駅が近い 4. 路線バスの停留所が近い 5. 患者輸送バスの停車場所が近い 6. 病院や商店などが近い 7. その他() 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 時間がない 2. 利用できる移動手段がない 3. お金がかかる 4. 体力的につらい 5. その他()

質問 15 日常の外出状況で困っていることや不安なことなどありますか？（当てはまるものをすべて選択）

- 1. 今は運転ができるが、車を運転できなくなったときに不安
- 2. 今は家族が送迎してくれているが、送迎してもらえなくなったときに不安
- 3. 病院や商店が遠く不便
- 4. 近くの商店が閉店し不便になった
- 5. 子供の通学が不便
- 6. 特に困っていることや不安はない
- 7. その他()

質問 16 日常の外出状況で改善してもらいたいと思うことはありますか？一番思うことをひとつだけ選んでください。

- 1. 通勤や通学で使えるような、駅までのバスを走らせて欲しい
- 2. 現在の路線バスの便数を増やして欲しい
- 3. 玉山区内のまちなかを循環するようなバスを走らせて欲しい
- 4. 患者輸送バスをこれからも続けて欲しい
- 5. 集落に商店ができたらい
- 6. その他()

